

第七十六回
帝國議會
貴族院

治安維持法改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十六年二月二十六日(水曜日)午前十時九分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 只今ヨリ開會ヲ致シマス

○次田大三郎君 私ハ昨日政府ガ此ノ治安維持法ノ改正案ヲ作ラレル際ニ、昭和九年第六十五議會ニ於テ治安維持法ノ改正案ガ問題ニナリマシタ際、貴族院ガ之ニ修正ヲ加ヘテ議決致シテ居リマス、之ニ依ッテ貴族院ノ意思ノ在ル所ハ大體決定シテ居ル譯デアリノデアリマス、其ノ點ヲ政府ハ本案ヲ起草サル、ニ當ッテドノ程度御酌量ニ相成ッタルデアリマス、矢張り貴族院ノ改正條項ハ今度ノ法律案ニ於テ御取上ゲニナッテ居ナイノハドウ云フ譯デアリカト云フコトノ質問ヲ致シタルデアリマス、ソレニ對スル政府ノ御答辯ハアッタノデアリマス、ドウモ諒解シ兼ヌル點ガ多クアルノデアリマス、速記録ガ出來マシタバ、其ノ速記録ヲ讀ミマシタ上デ改メテ質問ヲスルト云フコトヲ申上ゲテ私ノ質問ハ打切ッタクコトハ皆サン御承知ノ通りデアリマス、然ルニ承ル所ニ依リマス、委員長カラ政府ノ方ヘ御注意ニナリマシテ、昨日ノ御答辯ノ中デ國體ト政體ニ關スル問題、ソレニ付テハ政府ノ方デ御研究ニナッタ上デ改メテ御答辯下サルト云フ話デアリマス、非常ニ結構デアリマス、若シ此ノ機會ニ於テ其ノ御話ヲ伺フコトガ出來マスルナラバ仕合セダト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 昨日ノ次田委員

員ノ御質問ニ關聯致シマシテ政府ノ意見ヲ纏メテ申上ゲマス、尤モ足リマセヌ所ガゴザイマシタラバ更ニ御質問ニ依ッテ御答ヲ致シタイト思ヒマス、大正十四年ノ第五十議會ニ提出致シマシタ政府案ニハ政體變革ノ規定ガアリマシテ、是ハ結局削除セラレマシタコト及ビ其ノ後昭和九年第六十五議會ニ本法改正案ガ提出セラレマシタ時ニ、改正案第八條ニ、憲法ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞スルト云フ字句ヲ挿入シタ修正案ガ貴族院ニ於テ可決サレマシタガ、兩院協議會デ協議整ハズ、審議未了ニナリマシタコトニ付キマシテハ、是ハ皆サン御承知ノコトデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ今回ノ改正案ノ審議ニ付キマシテモ、過去ノ是等ノ事情ヲ篤ト研究致シマシタシ、又現在ノ我が國ノ思想情勢ハ必ズシモ過去ニ於ケル事情ト同一ト申ス譯デモアリマセ

ス、從來ノ行掛リニ捉ハレルコナク、更ニ新タナ見地カラモ檢討ヲ加ヘマシテ本改正案ヲ立案致シタルデアリマス、而シテ其ノ研究檢討ノ結果ハ、政體變革ト云フ字句モ、亦貴族院デ修正ノアリマシタ所謂憲法ノ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞スルト云フ字句モ、亦是ト狙ヒ所ヲ同ジクスル字句ヲモ遂ニ挿入セザルコトニ決定致シタルデアリマス、其ノ理由ヲ先ヅ端的ニ結論カラ申シマスレバ、第一ノ理由ト致シマシテハ、此ノ種ノ目的ヲ有ツ結社等ヲ正確ニ規定スル適當ナ表現ヲ見出シ得ナイコトナノデアリマス、ソレハ立法技術ノ問題モ

議論ガ出マシテ、結局政體變革ナル文字ヲ使用スル用語等ハ妥當ヲ缺クト云フコトデ削除論ガ出タ次第デアリマス、之ニ對シテ當時ノ政府ニ於キマシテハ、熟慮ノ結果、本法ハ要スルニ無政府主義、共產主義ヲ目標トスル處罰規定デアリマシテ、斯カル思想ニ基ク行為ガ國體變革、私財產制度否認ト云フ形ヲ取ッテ現ハレルノデアリカラ、大體ニ於テハ之ヲ削除シテモ治安維持上大シク不都合ハナイト考ヘマシテ、衆議院ノ削除意見ニ同意シ、貴族院デ其ノ儘通過致シタルデアリマス、此ノ政體變革ト云フ文字ノコトニ付テデアリマス、其ノ後昭和九年第六十五議會ニ治安維持法改正案ヲ提出致シマシタ際ニ於ケル政府案ニモ亦第五十議會ニ表明サレマシタ議會ノ意思ヲ尊重致シマシテ、政體ノ問題ニ觸レテ居ナカトデアリマス、當時ノ社會情勢ニ於キマシテハ、當初ノ治安維持法制定ノ當時ト多少情勢ヲ異ニ致シマシテ右翼運動ガ盛ニナリ、議會否認等ノ過激言論ガ右翼運動トシテ横行シマシテ、加之五・一五事件、神兵隊事件ト云フ直接行動事件ガ起リマシテ、先ヅ衆議院ニ於テ斯カル詭激右翼運動ノ取締規定ヲ治安維持法ニ挿入スル必要ガアルト云フコトノ議論ガ相當強カッタノデアリマス、之ヲ如何ナル形デ規定スルカト云フ立法技術ノ上デ難點ガアリマシタノミナラズ、本法ガ主トシテ當初左翼運動取締ヲ目的トシテ來タ沿革ヲ持ッテ居ルコトニ鑑ミマシテ、右翼運動ノ取締ニ付テハ寧ロ別ノ法律ニ依ッ

テ取締ルベキデアルトノ結論ニ到達致シマシテ、結局衆議院ニ於キマシテハ現時ノ世相ニ鑑ミ、政府ハ宜シク朝憲ヲ紊亂セムトスル暴力行爲ヲ嚴重ニ取締リ、且之ニ關スル適當ノ制裁法規ヲ立案シテ速カニ帝國議會ニ提出スベシト云フ希望條件ヲ附シテ政府ノ原案ヲ可決致シタノデアリマス、此ノ希望條件ニ付テ政府ノ行ヒマシタコトハ後ニ申上ゲマス、然ルニ此ノ改正案ハ貴族院ニ廻付セラレマスルヤ、昨日次出委員ヨリ御話ノアリマシタ如ク、右翼運動取締規定ヲ挿入スベシトノ議論ガ矢張り貴族院ニ於テ強ク行ハレマシテ、結局改正案第八條ニ憲法ニ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞スルトノ文句ヲ挿入シテ修正案ガ可決サレタノデアリマス、即チ此處ニ憲法ニ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ變壞スルト云フ表現ガ現ハレタノデアリマス、此ノ字句ガ是デ宜シケレバ結構デアッタノデアリマスガ、此ノ字句ノ解釋ニ付テ當時貴族院ノ委員ノ御説明ニナリマシタ所ニ依リマス、茲ニ謂フ憲法ニ定ムル統治組織トハ憲法上ノ統治機關ト云フ意味デ議會、政府、樞密院、會計検査院、裁判所等ヲ指ス、又茲ニ謂フ機能トハ統治機關ソレ自體竝ニ其ノ統治機關ノ作用ヲ意味スル、又不法ニト云フノハ主トシテ暴力行爲、脅迫又ハ威力ニ依ル場合ヲモ含ム、又變壞トハ永久の又ハ一時的ニ變更又ハ廢棄シ、或ハ其ノ作用ヲ止メタルト云フコトヲ意味スルト云フコトニナツテ居リマシタ、斯様ナ解釋ニ基テ修正案ニ對シマシテハ、貴族院ノ本會議ニ於キマシテ一議員カラ憲法ニ定ムル統治機關ノ機能ヲ變壞スルト云フコトハ、欽定憲法ニ於テハ臣下ノ容喙スベキモノデナイカラ、不法ナルト否ト問ハズ、是認

スベキデアリト云フヤウナ趣旨ノ反對意見ガ出テ居リマシタノミナラズ、最後ノ兩院協議會ニ於キマシテモ、衆議院側ノ委員ヨリ統治組織ノ意義及ビ不法ノ變壞ト云フ意義ニ付キマシテ、明確ヲ缺クト云フ意見ガ大勢ヲ支配シテ居ルヤウニ窺ヘルノデアリマス、而シテ政府ノ見解ト致シマシテモ、此ノ統治組織ノ意義ガ明確デナイト考ヘマシタシ、又不法ノ變壞ト云フコトモ解釋上疑義ヲ存シマスノデ、政府トシテ反對ノ意見ヲ表明シテ居ルノデアリマス、結局此ノ問題ノ爲ベカリデハゴザイマセヌデシタガ、兩院協議會ノ結果協議調ハズ此ノ改正案ハ審議未了ニナツテ居ルノデアリマス、今當時ニ廻リマシテ、現實ニ當時如何ナル結社ヲ對象トシテ斯カル規定ノ必要ヲ痛感サレタカト云フコトヲ考ヘマス、前ニモ申シマス通り、當時ハ右翼運動ニ依テ政府其ノ他ノ憲法上ノ統治機關及ビ其ノ作用ヲ暴力脅迫、威力等ノ不法手段ニ依テ、永久の又ハ一時的ニ變更廢棄スルトコトヲ企圖スル者ガアツカラデアアルノデアリマス、併シナガラ實際上ノ運用ニ於キマシテハ其ノ大部分ガ刑法内亂罪ノ豫備陰謀トシテ處斷シ得ル場合ニ限ラレヤウニ考ヘルノデアリマス、即チ飽ク迄實際上ノ取締ノ必要ト云フ觀點カラ論ヲ進メタイノデアリマス、例ヘバ議會制度ヲ不法手段ニ依リ變壞スルトコトヲ目的トシテ居ル結社ガアリト假定致シマス、ソレガ共產主義ニ基クモノデアリマスレバ、勿論治安維持法ニ依テ處理出來マス、然ラズシテ所謂右翼運動ノ形ヲ取ツテ現レマシタ場合ニ於テハ、議員制度否認ノ結果ノミナラズ、其ノ手段ニ付テ迄具體的ニ結社ノ目的トシテ決定シテ居ル以上ハ、其ノ不法

手段ハ暴力以外ニ考ヘ得ラレナイノデアリマシテ、暴力ト結ビ付カズシテ、脅迫トカ、威力ト云フコトハ單ナル觀念上ノ思想ニ過ギヌト思ヒマスカラ、前述ノヤウナ結社ガ出來タト致シマスレバ、其ノ結社關係者ハ暴力ニ依リ議會制度破壞、或ハ變壞スルトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ、又ハ協議シタト認メ得ルノデアリマシテ、斯様ナ意味カラ内亂罪ノ豫備陰謀ニ該當スルトハ當然デアルト思フノデアリマス、併シ一體此ノ右翼ト申シマシテモ、極メテ曖昧ナ觀念デアリマシテ、左翼ノ如ク其ノ思想ヲ捉ヘテ之ヲ處罰セムトスル規定ヲ設ケルコトハ不可能ニ近イノデアリマス、即チ所謂右翼團體ハ團體其ノモノトシテハ不法ノ團體デハナイノデアリマス、寧ロ團體其ノモノノ思想ヲ捉ヘテ見マス、或ハ忠君愛國ト言ヒ、或ハ天皇中心ト言ヒ、日本人トシテ最モ正シイコトヲ主張シテ居ルノデアリマシテ、團體其ノモノ、或ハ團體トシテノ行動ヲ法律ヲ以テ取締ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、又右翼團體ノ中ニハ政策問題ニ關シ、或ハ議會ヲ輕視、或ハ無視スルガ如キ主張ヲ爲シ、或ハ財產奉還論、土地國有論等ヲ其ノ綱領ニ掲ゲルモノモアルノデアリマス、其ノ殆下全部ハ結論又ハ結果ノミヲ言フニ止リ、其ノ手段ニ付テ迄具體的ニ主張シテ居ルモノヲ寡聞ニシテ存ジナイノデアリマス、從ヒマシテ第六十五議會ニ出マシタ貴族院ノ修正案ノ如キモノガ假ニ設ケラレマシテモ、此ノ種ノ右翼團體ヲ取締ルコトハ出來ナイト考ヘラレルノデアリマス、デ尙ソレデハマダ其ノ貴族院ノ修正案以外ニ何カ適當ナ字句ヲ考ヘタラ宜イデヤナイイカト云フ御意見モ勿論ゴザイマ

ス、ソレニ付テモ種々考慮致シマシタガ、今申上ゲマスヤウニ其ノ對象ガ甚ダ茫漠ト致シテ居リマスシ、大體ニ於テ團體其ノモノトシテハ不法團體トシテ取締ルト云フヤウナコトハ出來ナイヤウナ關係ニアリマスノデ、實際適當ナ字句ヲ發見スルトコトガ出來ナカッタノデアリマス、尙其ノ右翼運動ト云フモノニ付テドウシテ取締ヲ必要トスルカト云フコトヲ具體的ニ能ク考ヘテ見マス、其ノ取締ガ要求セラレル所ハ、其ノ思想ヨリモ寧ロ行動ニアルノデアリマス、所謂行動ニアルノデアリマス、其ノ行動ニ付キマシテモ團體トシテノ行動デハナクシテ、團體中ノ或者ガ時ニ其ノ目的ヲ達セムトスルニ急ナルノ餘リ、直接不穩ノ行動ニ出ル危險性ノアル點ニ取締ヲ要スルノデアリマス、即チ其ノ直接行動タルヤ、左翼思想ニ於テハ理論ヲ實踐トガ不可分離ノ關係ニ結ビ付イテ居ルノデアリマス、是トハ違ヒマシテ右翼運動ニ付キマシテハ必ズシモ彼等ノ運動ノ主義主張トハナラナイノデアリマス、謂ハバ其ノ不穩ノ行動ハ偶發的ナ行動デアルト云フノガ實際ノ有様デアリマス、從ヒマシテ斯様ナ行爲ニ對シマシテハ刑法ノ内亂罪ナリ、殺人ナリ、傷害ナリ、又ハ暴力行爲取締法、爆發物取締罰則、現在アル法規ニ依テ十分目的ヲ達シ得ルノデアリマス、又若シ手段ノ點ニ觸レナイデ、議會否認財產奉還等ニ關シ詭激ナル言論ヲ爲スト云フモノニ付キマシテハ多ク文書ニ依ルヲ常ト致シマスルカラ、新聞法、出版法、不穩文書取締法等ノ罰則ニ依テ取締ルコトガ出來マスシ、集會等ハ治安警察法ノ行政司法ノ兩方面カラ適當ニ取締ルコトガ出來ルノデアリマス、尤モ御心配ニナリマスヤウ

ナ愛國ヲ偽裝シ、眞實ハ共產思想ニ基イテ行動シテ居ルト云フヤウナモノニ付テハ是ハ勿論治安維持法ノ適用ガアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、デ以上ノヤウニ繰返シテ申シマスガ、實際ニ對象ガ茫漠ト致シテ居リマス關係上、之ヲ取締ルベキ表現ニ乏シイコトト、更ニ又サウ致シマスデモ個々ノ行動ニ對シテ、其ノ運動ノ實際ニ鑑ミマシテ、個々ノ運動ニ對シマシテハソレノ取締規定ガ現行刑法法規中ニ存在シテ居ルノデアリマスカラ、政府ト致シマシテハ現下ノ情勢ヲ判斷致シマシテ政體否認ノ傾向アル言論及ビ偶發的ニ發生スル直接行動ヲ取締ル上ニ於キマシテハ現在ノ法規十分デアルト云フ見解ヲ執ッテ居ルノデアリマス、尙附加ヘテ申シマスガ、第六十七議會ニ於キマシテ政府ハ第六十五議會ニ現レマシタ兩院ノ希望の意見ヲ尊重致シマシテ不法團結等處罰ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタ、是ハ即チ希望條件ニ基イテ案ヲ具シタノデアリマスガ、結局審議未了ニ終ッテ居ルノデアリマス、其ノ當時ノ議會ノ空氣ヲ見マシテモ、右法律案ハ結局刑法ノ殺人等ノ罪ノ共犯ノ場合ニ多少、刑ヲ加重シテ行クモノニ過ギナイカラ、現行刑法デ足リルノデハナイカト云フ議論ガ強カッタヤウニ思フノデアリマス、此ノ法律案ハ其ノ右翼運動ノ不法ノ活動ヲ處罰スルニ如何ナル形ヲ取ッテ規定スベキカニ付テ、政府ハ熟慮檢討ノ結果出來上ツタ案デアリマシテ、右翼運動ノ不法ノ活動ヲ現在治安維持法ノヤウナ思想ニ基ク結社活動トシテ規定ノ上ニ現スコトガ實際ニ適合セズ、從ッテ妥當デナイト云フヤウナコトカラ、斯ウ云フ風ナ刑法ノ殺人等ノ罪ノ規定ノ場合、刑法ノ

特別法化シタヤウナ形ヲ取ルニ至ツタ次第デアリマス、是等ノ從來ノ政府ノ種々苦心致シマシタ所ハ今回ノ改正法律案ヲ提案スルニ致シマシテモ、種々改メテ考慮致シタイノデゴザイマスシ、更ニ又當時ノ社會情勢ト現在ノ社會情勢トノ違ヒ、又恐ラク斯ウ云フ法律案ニ對スル社會ノ關心ノ度合等モ當時ノ前ノ議會等トハ違ッテ居ルト云フコト十分ニ考慮ハ致シマシタノデゴザイマスケレドモ、今申上ゲマスヤウナ種々ノ困難ノ點ガアリ、又更ニ現在ノ法規ニ於テモ賄ヘルト云フ關係ガゴザイマスノデ、今回ニ於キマシテ、政體、若シハ次田委員ノ仰セラレマシタヤウナ、サウ云フ字句ヲ加ヘナカッタ次第デアリマス、ドウカ政府ノ苦心ノ存スル所ヲ何率御了承願ヒタイト思フノデアリマス

○次田大三郎君 治安維持法ノ沿革カラ考ヘテ見マスルト、當初大正十四年二月初メテ治安維持法ガ制定セラレマシタ時ハ、衆議院デ政體ノト云フ文字ヲ削ッテ、國體ヲ變壞スル場合ニ限ルコトニ致シタノハ、其ノ當時ノ事情カラ考ヘテ不思議デハナカッタデアリマス、寧ロ政府ガ國體變壞ト一緒ニ、政體ト云フ文字ヲ入レタノハ、或ハマア國體ノ變革ヲ禁止スルノデアルカラ、其ノ序デニ政體ノコトモ規定シテ置カウト云フ位ナコトデ其ノ文字ガ入ッタモノノヤウニ私ハ承知シテ居ル、其ノ當時政體ヲ變革スル運動ガ、結社ガ、變革スルコトヲ目的トスル結社ガアツタ譯デモナイシ、變革スルガ宜シカラウト云フ議論、議會否認論ノ如キ議論ガアツタ譯デハナインデアリマス、ソコデ廣ク政體ヲ變革スルト云フコトヲ目的トスルト規定シテ置ケバ、例ヘバ合法的ナ方法

ニ依ッテ樞密院ノ廢止ヲシヨウトカ、裁判所ノ如キヲドウシヨウトカ云フヤウナ意見ヲ立テ、其ノ實行ヲ圖ルガ爲ニ請願スルト云フヤウナ場合デモ罰セラレルコトニナル、ソレハ餘リ廣過ギルカラト云フノデ衆議院デ削除サレタト私ハ承知シテ居ル、ソレハ不思議デハナイ、然ルニ其ノ後昭和九年、第六十五議會ニ政府ガ治安維持法ノ改正案ヲ提出ニナリマシタ際ニハ、モウ社會情勢ガ非常ニ變ッテ參ッテ、御話ノ如ク血盟團事件アリ、神兵隊事件アリ、川越事件アリト云フヤウナコトデ、色々々暴力行爲ガ行ハレテ、右翼思想ニ基ク暴力行爲ガ行ハレテ居タノデアリマス、其ノ暴力行爲ガ行ハレタコトニ鑑ミマシテ、ソレニ對シテ取締ヲスル必要ガアル、普通刑法ニ規定シテ居ル此ノ以上ニ特別立法ヲ以テ取締ル必要ガアル、ソレニハ丁度治安維持法ノ改正ヲ企圖セラル、際デアルカラ、右翼思想ニ基ク政體ヲ不法ニ變革セントスル如キ者ニ對シテハ、其ノ取締規定ヲ挿入スル必要ガアルト云フノガ貴族院ノ主張デアッタガ、之ニ對シテ政府ハ其ノ必要ハナイ、ソナニ右翼ノ方ノ活動ハ心配センデモ宜シイ、普通刑法デ取締レバ十分デアルト云フコトヲ最後迄固執サレテ、結局治安維持法ノ改正ガ不成立ニナッタノデアリマス、其ノ後色々ナコトガアリマシテ、私共ノ考デハ今日デモ矢張り或ハ議會ヲ否認スルトカ云フヤウナ右翼方面ノ思想ガ相當ニ世ノ中ニ行ハレテ居ル、ソレガ一轉シテ實行ニ移ルト云フ危險ガ相當ニアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、政府ノ御答辯ハ此ノ六十五議會ニ於テ政府ノ主張サレタ其ノ通りノコトヲ今矢張り御話ニッテ居ルノデアリマス、私今日速記録ヲ借りテ來テ

讀ンデ見マシタガ、丁度今仰シヤッタコトハ六十五議會ニ於テ政府ガ言ハレマシタコトヲソクリ御話ニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ伺ヒタイノハ、私共ハ此ノ社會情勢ハ六十五議會ノ時ヨリモ尙増シテ右翼奇矯ナル思想ガ各方面ニ傳播シテ居ルノデナイカ、從ッテソレヲ實行ニ移ス、不法ノ手段ニ依ッテソレヲ實現セムトスル考ノ人ガ相當世ノ中ニアルノデヤナイカ、サウ云フ人が結社ヲ作り、集團ヲ作ッテヤリ出スト云フコトニナルト、實際非常ニ不祥事ガ起ル虞ガアルト云フコトヲ憂慮スル者デアリマス、政府ノ只今ノ御話ニ依リマス、普通刑法デ取締ル目的ハ達セラレル、マアソナニ心配スル程ノ情勢デナイト云フヤウニ了解致シタノデアリマスガ、ソナニ心配スル程ノ情勢デナイト云フ御見込ニ付キマシテ、何カ具體的ノ右翼ノ動キノ實情ヲ御調ニナッテ居ルモノガアリマスコトト思ヒマスガ、ソレヲ此ノ際必要ガアリマスレバ秘密會ヲ開イテ御説明ヲ願フト大變結構ト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 私ガ申上ゲマシタ通り、實ハ右翼……右翼バカリデモアリマセスガ、一體ニ憲法ニ對スル各種ノ論議ヲ致シマシテ、不法ニ之ヲ變壞シヨウトスルヤウナ思想ト云フモノノアルコトハ是ハ認メルノデアリマス、併シソレヲ目的トシタ團體ガアルカナイカ、又サウ云フ結社ガ續々トシテ出來ツ、アル形勢ニアルカドウカト云フコトハ、是ハ事實問題デアリマスカラ、之ニ付キマシテハ空漠タル論ヲ申上ゲマスヨリモ、寧ロ實際ノ右翼運動ノ模様ヲ申上ゲマシテ御了解ヲ得ルコトガ適當ト考ヘマス、只今御言葉ノ通りデアリマス

ノデ、其ノ點ニ付テノ御了解ヲ得ルヤウナ
手段ヲ政府トシテハ講ジタイト存ジマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 次田君ニ申上
ゲマスガ、今直グ其ノ事情ヲ説明スルヨリ

モモウ少シ纏メマシテ御話スル機會ヲ得タ
イト、司法省ハ言ッテ居リマスカラ……

○次田大三郎君 我ハ願クハ今直グ其ノ説
明ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、サウシ
テソレヲ伺ッテ上デモウ私ハ質問ヲ打切り
タイト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 實ハサウ云フ
不法ナ手段ヲ以テ、サウ云フコトヲ目的ト
シテ結社ガアルカナイカノ問題デアリマス
カラ、ゴザイマスレバ御説明ヲ申上ゲマス
ガ、大體ニ於テサウ云フ結社ガナイト云フ
建前ニアルノデゴザイマス、ソレデスカラ
要スルニ御説明ハ、此ノ團體ハ斯ウ云フコ
ト決シテソレニ觸レナイ、斯ウ云フ團體
モ斯ウ云フ風ナコトヲヤツテ居ルガ、之ニ觸
レナイ、斯ウ云フ否定的ナ御説明ヲ申上ゲ
ルニ止マルノデアリマス、サウ云フコトニ
ナルト存ジマスガ……

○次田大三郎君 其ノ程度ノコトデアリマ
スレバ、私伺ハスデモ宜シイ、要スルニ問
題ハ今日ノ場合、右翼思想ニ基ク暴力ヲ以
テ憲法ヲ蹂躪シヨウトスルトカ、憲法上ノ
機關ヲ潰サウトカト云フヤウナ底流ガ社會
ニアルカドウカ、其ノ危險ガドノ程度デア
ルカドウカト云フコトノ見込ノ違ヒト云フ
コトニ歸著スルノデアラウト思フノデアリ
マス、私共ハ其ノ底流ガ相當強ク流レテ居
ル、ソレガ相當程度迄モウ既ニ社會ニ現レ
テ居ルノデヤナイカ、其ノ危險ガ十分アル
カラ、普通刑法以上ニ、特別立法ヲ以テ之
ヲ取締ル必要ガアルト存ズルノデアリマス、

政府ハソソナ必要ハナイノダ、オ前達ガ心
配スルヤウナ情勢ハナイノダ、從ッテ從來通
リ普通刑法デ以テ取締レバソレデ宜シイノ
ダ、斯ウ云フ御見解ト拜承致シタノデアリ
マス、サウナレバ、モウ昭和九年ノ六十五
議會ノ時ニ政府ト貴族院ト論議ヲシ合フタ
ト同ジコトニナルノデアリマシテ、其ノ當
時貴族院ハドウシテモ此ノ右翼ノ方ノ過激
ナル行動ヲ爲ス者ヲ何等カノ形式デ抑ヘナ
ケレバイカヌ、取締ラナケレバイカヌト云
フコトヲ申シタ、處ガ政府ハ其ノ必要ガナ
イ、是ハモウ速記録ニスカリ今御話ト同ジ
ヤウナ意味ノコトガアリマス、普通刑法デ
以テ十分其ノ取締ノ目的ヲ達スルコトガ出
來ルト言ハレテ、結局水掛論ニ終ツタノデア
リマス、デアリマスルカラ私其ノ水掛論ヲ
是以上ヤル考ハナイ、唯一ツ重大ナコトヲ
指摘シテ御考ヲ願ヒタイ、ソレハ今日ノ場
合、特別立法ヲシテ右翼方面ノ詭激ナル行
爲ヲ取締ル必要ガアルカドウカ、サウ云フ
社會情勢ハソコ迄來テ居ルカドウカト云フ
コト、是ハ私ト政府ノ見ラル、所ト意見ガ
違フノデアリマスカラ、其ノドチラガ正シ
イカト云フコトヲ決メルコトハソレハ出來
マセヌ、今日ノ場合私ガ是以上議論シナイ
ト云フノモ其ノ爲ナンデアリマス、併シナ
ガラ第六十五議會ニ於テ貴族院ガ主張シタ
コトガ正シカッタカ、政府ガ言ハレタコトガ
正シカッタカト云フコトハ、其ノ後ノ推移ニ
依ッテ明白ニモウ裁判ハ下サレテ居ルノデ
アリマス、即チ右翼ノ方ヲモット取締ラナケ
レバイカンゾト言フコトガ正シカッタカ、
其ノ後ノ事實ニ依ッテ證明サレテ居ルノデ
アリマス、ソレハ第六十五議會ヨリ三年後
ノ昭和十二年ノ二月二十六日ノ所謂二・二六

事件ト云フモノガ起ツタノデアリマス、二・
二六事件ヲヤリマシタ青年將校ハ、昭和八
九年若シクハソレヨリ數年前カラ行ハレテ
居マシタ所ノ右翼思想ノ影響ヲ受ケテ、憲
法ヲ停止シ政體ヲ變壞スルノ意圖ヲ以テ内
亂ヲ起シタノデアリマス、所謂貴族院ガ修
正案ニ書キマシタ憲法ノ定ムル統治機關ノ
機能ヲ不法ニ變壞セムトシタモノナノデア
リマス、不法ニ變壞セムトシタモノナノデア
アリマス、六十五議會デ政府ガ頻リニ右翼
ノ方ハ心配ハナイノダト言ハレタコトハ、
是ハ美事ニ裏切ラレ、貴族院ガ右翼ノ方ノ
取締ヲモット嚴重ニシナケレバイカヌゾト
云フコトヲ切言致シマシタコトガ、其ノ見
込ガ不幸ニシテの中シタノデアリマス、甚
ダ皮肉ナコトデアリマスルガ、此ノ六十五
議會ニ於テ右翼ノ方ハ心配スル必要ガナイ
ト言ハレマシタ政府ノ首腦デアッタ所ノ齋
藤子爵ヤ齋藤内閣ノ大建物デアッタ所ノ高
橋子爵ガ恰度五年前ノ今日反亂軍將校
ノ爲ニ襲ハレテ非命ノ最後ヲ遂ゲラレタノ
デアリマス、貴族院ガ其ノ當時右翼ノ方ヲ
取締ラナケレバイカヌゾト主張シタコトガ、
其ノ問題ガ不幸ニシテの中シタ、是ハモウ
爭フ餘地ガナイノデアリマス、其ノ當時私
ノ友人ノ一人ハ、齋藤内閣ノ取締ノ局ニ當
テ居ッタ大官ハ、一體何ノ額アッデ、齋藤、
高橋兩巨頭ノ葬儀ニ參列スルデアラウカ、
何ノ額アッデ其ノ御墓詣リヲスルデアラウ
カト言ッテ罵ツタノヲ私聞イタコトガアルノ
デアリマス、私考ヘマスニ、假ニ第六十五
議會ニ於テ貴族院ノ修正案ガ成立致シマシ
テ、治安維持法中ニ右ノ條項ガ加ヘラレテ、
治安維持法ガ成立シテ居タト致シマシテモ、
恐ラク二・二六事件ト云フモノハ、ソレニ依ッ

テ阻止スルコトガ出來ナカッタラウト思ヒ
マス、ソレハ何故カト云フト、法律ハ死物
デアリマシテ、ソレヲ活カスモノハ取締當
局ノ心構ニアルノデアリマス、第六十五議
會當時ノ取締當局ガ右翼ノコトハ心配スル
ニ足ラヌ、ソレモ貴族院ガ院議ヲ以テドウ
シテモハヤラナケレバナラヌト云フコト
ヲ切々トシテ申シマシタノヲ耳ヲ藉サナイ
デ、大丈夫ダト云フ御見込ヲ御立デニナッ
タ、私ハ其處ニ取締當局トシテ心構ノ十分
デナイ所ガアッタノデヤナイカ、弛ミガアッ
タノデヤナイカ、隙ガアッタノデヤナイカト
云フコトヲ考ヘルモノデアリマス、其ノ取締
當局ノ取締上ノ心構ガ緊張シテ居ナカッ
タノデヤナイカト云フコトノモウ一ツノ
例ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ソレハ六十六議
會デアリマシタカ、六十六議會デアリマシタカ、
私能ク記憶致シマセヌガ、貴族院ノ豫算總會
ニ於テ松村義一君ガ質問ヲシタコトガアルノ
デアリマス、其ノ當時五・一五事件ノ判決ガ
アリマシテ、其ノ被告タル青年將校ノ陳述
ガ毎日々々新聞ニ大キク書カレテ居タ、
其ノ中ニ、陛下ノ側近ニ奉仕スル人達ハ皆
怪シカラヌト云フコト、君側ノ奸ト云フ
言葉ヲ用ヒテアッタカドウカハ記憶致シマ
セヌガ、兎ニ角サウ云フ意味ノ被告ノ陳述ヲ
其ノ儘日本全國ノ新聞ニ大キク掲ゲデアッタ
ノデアリマス、松村君ハ其ノ事實ヲ捉ヘマ
シテ、斯ウ云フコトハ第一畏レ多イコトデ
ヤナイカ、斯ウ云フコトヲ國民ニ絶エズ讀
マシテ居ルト、國民ガ知ラズ識ラズノ中ニサ
ウ云フ心持、サウ云フコトヲ信ズルヤウニ
ナルカモ知ラヌ、ソレハ一方ニ於テ 陛下ノ
尊嚴ニ對シテモ如何ナモノデアラウカ、
又他ノ一方カラ言ヘバ、サウ云フ君側ノ奸

ナント云フモノハ一ツヤツケテシマフガ
宜イト云フヤウナ心得違ヒノ者ガ起ラナイ
トモ限ラナイ、サウ云フ新聞ヲ毎日々々讀
ンデ居レバ……要スルニ暴力行爲ヲ教唆シ
テ居ルヤウナ結果ニナリハシナイカ、ドウ
シテ内務當局ハ其ノ取締ヲシナイノカ、斯
ウ云フ新聞記事ヲ差止メナイノカト云フ質
問ヲシタノデアリマス、處ガ其ノ當時ノ當
局者ノソレニ對スル御答ハ、斯クノ如キ記
事ハ安寧秩序ニ害ガナイト考ヘル、サウ云
フ答辯デアッタノデアリマス、如何デアリマ
セウカ、其ノ後二・二六事件ガ起リマシタ
時ニ、其ノ當時ノ鈴木侍從長ハ先ヅ第一ニ
襲撃サレテ瀕死ノ重傷ヲ負ッタノデアリマ
ス、牧野前内大臣ハ襲撃ヲ受ケテ身ヲ以テ
死ヲ免レタノデアリマス、一木前宮内大臣
ハ襲撃サル、豫定デアッタサウデアリマス、
併シナガラソレハ兵力等ノ關係デ叛徒ガソ
コ迄手が延ビナカッタト云フノデ辛クモ其
ノ襲撃ヲ免レタ、齋藤子爵ヤ高橋子爵ト同
ジ運命ニナルコトヲ免レタト云フコトガ今
日ニ於テハ明瞭ニナッテ居ルノデアリマス、
サウ云フコトガ起ルコトヲ悞レテ、松村君
ガ豫算總會ニ於テ新聞取締ヲモットヤツテ欲
シイト云フ意味ノ質問ヲシタノニ對シテ、其
ノ當時ノ取締當局ハ、ソナナコトハ安寧秩
序ニ關係ガナイト言ッタノデアリマス、私ハ
取締當局ノ取締ノ心構ニ於テ弛ミガアッタ
ト云フコトノ現ハレデアルト言ヒ得ルト思
フノデアリマス、併シ斯ウ云フコトヲ論ジ
マシテ、誰ガ責任デアアル、誰ガ不都合ダッ
カラ、云フコトニナッタダト云フヤウ
ナコトヲ今論ジマシテモ、ソレハ死兒ノ齡ヲ
論ズルモノデアリマシテ、之ニ依ッテ齋藤、
高橋ノ兩巨頭ガ生キテ還ラレル譯ノモノデ

ハナイノデアリマス、此ノ二大政治家ヲ失ッ
タ國家ノ損失ハ少シモ補ハレルコトハナイ
ノデアリマス、デアリマスカラ問題ハ、事
前ニ警戒ヲスルト云フコトデアラウト思フ、
轉バヌ先ノ杖ヲ持ツト云フコトデアラウト
思フノデアリマス、今日政府ノ御説明ニ依
レバ、今日ノ情勢ハ特別立法ヲスル必要ハ
ナイ、右翼方面ノコトハ普通刑法法テ取締レ
バ十分デアルト云フ御見込デアリ、私ハ不
幸ニシテ意見ヲ異ニシテ居ル、今日ハ第六
十五議會當時ヨリモモット警戒ヲ嚴重ニシ
ナケレバナラヌ社會情勢ト云フ見込デアリ
マス、其ノ見込違ヒ、マア普通政府ト外ノ
モノト見込ガ違ッテ居ル場合ニハ、色々ナ調
査ノ手ヲ持ッテゴザル政府ノ御見込ガ當ル
ノガ普通デアリマス、併シナガラ政府ノ御
見込ト雖モ、時ニハ間違フコトガアル、ソ
レハ立派ナ證據ガアル、間違フコトガアル
ノデアリマス、ソコデ私ノ希望スルコトハ、
ドウカ取締當局ノ方ハ、最善ノ注意ト、最
モ慎重ナル態度ヲ以テ取締ヲヤツテ戴キタ
イ、假ニ私ノ意見ガ採用サレマシテ、特別
立法ヲ以テ右翼方面ノ活動ヲ取締ルト云フ
コトニナッタト致シマシテ、ソレデヤツテ見
タ所ガ、何ニモ右翼方面ノコトハ政府ノ御
見込通り心配スルコトガナカッタ、五年、
十年、二十年、何ニモサウ云フコトハ起ラ
ナカッタト致シマス、私ハ此ノ位結構ナコ
トハナイト思ヒマス、國家ノ慶事ダ
ト思フ、私ガ馬鹿ナ見込違ヒダト言ッテ人
ニ笑ハレマセウガ、人ニ非難サレマセウ
ガ、私ハ甘シジテ其ノ非難嘲笑ヲ受ケタイ
ト思フノデアリマス、併シナガラ萬一
政府ノ御見込ガ違ッテ私ノ見込通りニ
ナリマシテ、先達テノ二・二六事件ニ類スル

ヤウナコトガ又起ッタト考ヘテ見マス、ド
レタケソレハ國家ノ損失デアラウ、考ヘタダ
ケデ膚ニ粟スル感ジガ致スノデアリマス、
私ハ今申シマシタ通り此處デ押問答ヲスル
考ハアリマセヌ、唯最後ニ取締當局ハドウ
カ眞劍ニ御考ヲ願ヒタイ、昨日田口君ガ御
話ガアリマシタ如ク從來ノ行掛リニ囚ハレ
ナイデ、一ツ虛心坦懷ニ此ノ現在ノ情勢ヲ觀
察ナスツテ、無駄デアツテモ、一ツ特別立法ヲ
以テ右翼ノ方ヲ抑ヘルト云フ氣持ニナッテ
戴キタイ、斯ウ云フ希望ヲ申上ゲテ私ノ質
問ヲ打切りマス

○山岡萬之助君 只今ノ問題ニ牽聯シタコ
トニ付テ政府ノ少シク御説明ヲ願ッテ置キ
タイノデアリマス、此ノ治安維持法制定ノ
際ニ政體ト云フ事柄ガ衆議院デ論議セラレ
マシテ、削除ニナッタノデアリマス、今日一
應御説明ハアッタノデアリマス、實ハ今迄ノ
御説明ノ内ニ政體ト國體ト云フモノハ稍同
ジヤウナモノデ、政體ノ破壊ヲシテ行クト
云フコトノ關係ハ、國體破壊ニナルカラ、
大體ソレデ済ムト云フ風ナコトデ、今日ノ
御説明モ、除イタモノハ、他ノ法律ニ依ッテ
取締ガ付ク、斯ウ云フ御説明デアリマス、
兎ニ角今日ノ事態ニ於テ立憲政治ト云フモ
ノニ付テ相當ナル論議ガ行ハレテ居ル際デ
リマス、今日ノ政體ノ意義、ソレノ國體ト
關係、斯ウ云フコトダケハ、何トシテモ是
ハ明カニシテ置キマセヌト、此ノ法律ヲ運
用スル上ニ於キマシテモ亦此ノ法律ニ牴觸
シナイカラ他ノ法律ヲ適用スルト云フコト
ニ致シマシテモ是ダケハハッキリシテ置ク
必要ガアルノデアリマス、今日ノ御説明ハ
其ノ點ガ明瞭ヲ缺キマシテ、唯説明ノ順序
トシテ議會ニ於ケル、六十五議會ノ貴族院

ノ趣旨ノ在ル所ヲ汲マナカッタト云フ行キ
途ノ爲ニ御説明ニナッタヤウデアリマス、ケ
レドモ、ソレデハ將來ノ爲ニモ、此ノ審議ノ
上ニモ足ラヌト思ヒマス、ソコデ私ハ當時
ノ治安維持法制定ノ際ニ政體ト云フ字ヲ除
去シタコトニ關シマシテ見マス、其ノ
際申シマシタヤウニ、衆議院ノ本會議ニ於
テハ政體ト云フコトハ大體代議政體デアッテ、
今一ツ言ヒ換ヘレバ、議會政治ト云フヤウ
ナコトニ説明サレタノデアリマス、ソコデ
委員會ヘ來ルト云フトサウ云フ説明デハ濟
マナクナツタ、非常ニ議論ガ紛糾シテ來タ、
此ノ代議政體ト云フコトデ政體ト云フモノ
ヲ説明シテ居ルコトデハナカラウト思ヒマ
ス、今日政府ノ御説明ニナッテ居ルヤウニ、
樞密院トカ、其ノ他ノ要スルニ憲法上ノ機
關ト云フコトニ關スル考ヘ方ヲシナクチャ
ナラヌト云フヤウナ論迄、三權分立論迄一
ツソコヘ現レ出タノデアリマス、サウ云フ
風ニ此ノ政體ト云フ字ハ時代ノ推移ニ從ッ
テ動イテ參リマスルノデアルカラ、國體ノ
如クニ不變ノ性質ヲ持ッテ居ラスノデアリマ
ス、ソコデ此ノ政體ト云フ字ヲ此處ニ挿入シ
テ其ノ結社ヲ處罰スル、斯ウナレバ其ノ範圍
ト云フモノガ甚ダ明瞭ヲ缺クト云フコトデ、
議論ガ起キマシテ、此ノ文字ノ爲ニ治安維持
法ノ不成立ヲ見ルト云フヤウナコトデハ甚
ダ遺憾デアルト云フノガ當時ノ經緯デアッテ
御承知ノ如クニ、アノ當時ハ普選ヲ實施セ
ムトスル時代デ所謂大衆ノ動キノ時代デア
リマス、治安維持法ノ如キモノヲ制定スルト
云フコトニ付テハ非常ニ難色ガアッタノデ
アリマス、デアアルカラ假ニモソコニ紛糾シ
タ問題ヲ置イテ置イテハ此ノ法律ハ成立ヲ
スルコトガムツカシイト云フ時代デアッタノ

デアリマス、ソレデアルカラ其ノヤウニムツカシイ問題ハ姑ク措イテ、政府ガ曩ニ御説明ニナツタヤウナ無政府ノ問題ハ國體ニ依ツテ防止出來ル、又財産ニ關スル共產主義ノ問題ハ即チ私有財産制度否認デ行ケルカラシテ暫ク今日ノ事態ニ於テハ、即チ政黨政治、普選ヲ實施シテ議會ヲ強化シテ行ク、斯ウ云フ時代デアリマスルカラ、其ノ議會強化ノ時代ニ於テ議會ヲ否認スル論ト云フモノハドウモ考ヘラレナイ、サウ云フ政情デアツタカラ是ハ拔イタ、然ルニ段々次田委員ノ御述ベニナリマスルヤウニ、時代ハ變化シテ今日ノ如キニナツテ參ッタノデアリマスカラ、ソコニ政體ト云フコトニ關係シテ何カ考ヘナケレバナラスト云フ必要ヲ生ジテ來テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、政體ノコトハ國體デ宜イダト云フ御説明デハドウモ甚ダ足ラナイノデアリマス、ドウシテ見タ所デ今後此ノ政體問題ヲ土臺ニシテ法規ノ關係ニ於テモ、或ハ運用ノ上ニ於テモ考ヘナクチヤナラスト思ヒマス、ソレ故ニ國體ト云フモノ、國體ニ關聯シタト云フ意味モアリマスルガ、政體自體ノ如キモ大體斯ウ立憲政治ト云フ風ナ御説明ガアリマシタガ、ドウ云ツタコトニ御考ニ政府ハナツテ居ルカ、其ノ御説明ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス

○政府委員(三宅正太郎君) 國體ノ意義ニ付キマシテハ是ハ只今山岡委員ノ仰セニナリマシタ通り既ニ確タル意義ガ確立致シテ居リマシテ、而シテ且大審院ハ再三ニ互リマシテ國體ノ意義ヲ明カニ致シテ居リマス、最早此ノ點ニ付テノ論議ノ餘地ガナイ迄ニ確定致シテ居ルト思フノデアリマス、其ノ國體ト申シマスノハ是ハ大審院ノ判例ヲ

引用致シマスレバ「我が帝國ハ萬世一系ノ天皇君臨シ統治權ヲ總攬シ給フコトヲ以テ其ノ國體ト爲ス、治安維持法第一條ニ所謂國體ノ意義亦之ニ外ナラズ」此ノ判例ハ其ノ後何等少シモ變更ヲ見ズシテ今日ニ來テ居リマス、ソコデ、デアリマスカラ此ノ國體ト云フ明確ナル定義ニ比シマスレバ、國體ト政體トノ觀念上相違ガアルコトハ明瞭ダト思フノデアリマス、即チ政體ハ統治權ノ働キヲ意味スルモノデアル、デアリマスノデ例ヘバ今仰セニナリマシタ立憲政治ト云フコト、或ハ又各種ノ憲法ノ機關ニ依ッテ統治權ガ行ハレルト云フ形、是等ハ何レモ政體ニ屬スルモノト思フノデアリマス、デアリマスカラ政體ノ變革ガ即チ國體ノ變革ダト斯ウ一概ニハ申セラレナイ、申シ得ナイコトハ當然デアリマスガ、唯此ノ統治權ガ 天皇ノ御手許ニ總攬、 天皇ノ御手許ニ於テ總攬シ給フコト云フ其ノ形ヲ存シテモ、其ノ實ヲ奪フガ如キモノハ即チ之ガ失張リ國體ノ變革ニ外ナラストハ是ハ申ス迄モアリマセス、政體ノ變革ト云フコトヲ名トシマシテモ結局ニ於テ國體ノ變革ヲ、詰リ統治權ノモノヲ裏面カラ是ニ其ノ働キヲ失ハシムル形ニナリマスレバ是亦國體ノ變革ナルコトハ疑ヒナイト思ヒマス、其ノ點ニ於テ國體ノ變革ト政體ノ變革トノ間ニ一聯ノ、一脈ノ繋ガリハゴザイマスケレドモ、併シナガラ觀念ハハッキリシタイト思フノデアリマス、只今山岡委員カラ仰セラル、ヤウニ然ラバ政體ト云フモノノ意味ノ範圍ト申シマスカ、ソレガ何處カト申シマスト是ハ説ク人ニ依ッテ色々デアリマス、例ヘバ法律辭書ヲ見マシテモ政體ト云フコトノ意味ニハ幾様ニモ書キ分ケテゴザイ

マシテ、其ノ説ク人ニ依リマシテ其ノ範圍ナリ、内容ナリハ相當ニ違ヒガアル、之ヲ何處迄ガ即チ政體デアルカト云フコトヲ確定致シマスコトハ、非常ニ困難ナコトデアリマスコトハ先程來由上ガ所デアリマス、デアリマスノデ政體變革ト云フコトガ決シテ喜ブベキ狀態デナイコトハモウ仰セ迄モナク我々モ痛感シテ居ルコトデゴザイマスガ、扱之ヲ取締ルト云フ點ニ至リマスト果シテドウ云フ風ニ取締シテ、ドウ云フ風ナ規定ヲ設ケテ宜イカ迷ヒマスシ、更ニ又サウ云フ政體變革ヲ目的トスル結社、或ハ結社デナクトモ或ハ其ノ協議トカ云フヤウナ、多數ガソレヲ協力シテ其ノ思想ヲ強メルト云フ風ナ形ニ持ッテ來ル、サウ云フ風ナ形ノ犯罪ト云フモノガ一體現實ニアルカナイカト云フコトガ先程申上ゲマシタヤウニ問題デアリマス、寧ロソレ等ノモノハ内亂豫備ト云フコトヲ以テ處罰スルコトガ適當ダト思ヒマス、治安維持法ト云フ法律ガアルモノデアリマスカラ聊カ内亂罪ト云フモノノ値打ガ何カ斯ウ聊カ閑却サレタカノ如キ感ジハゴザイマスケレドモ、國家ニ於テ内亂罪位重要ナ刑罰規定ハナイト申シテモ宜イデゴザイマセウ、ソレ位ニ内亂罪ハ重要ナノデアリマス、サウシテ而モ其ノ刑モ十分重クシテゴザイマス、チョット餘事ニ互リマスケレドモ、六十七議會ニ於テ不法團結等處罰ニ關スル法律案ヲ出シマシタガ、之ガ遂ニ御同意ヲ得ナカッタノデアリマスガ是ハ特ニ人ノ生命ヲ害シ又ハ人ノ身體ニ傷害ヲ加ヘムガ爲ニ相團結シテ其ノ實行ノ豫備ヲ爲シタ者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處スル、處ガ内亂ノ豫備ハ一年以上十年以下ノ禁錮デアリマス、デアリマスカラ、内亂ノ豫備

ノ方ガ重イノデアリマス、寧ロ不法團結等處罰ニ關スル法律案ヲ作ッテ、却テ内亂ノ豫備ヨリモ輕イ刑罰ヲ制定シタヤウナ感ガ茲ニアル譯デアリマス、寧ロ飽ク迄モ内亂罪ノ條章ニ據ッタ方ガ宜シイト思フノデアリマス、例ヘバ今回ノ治安維持法ニ付キマシテモ、今度改正ニナリマシタ第五條デ、協議、煽動、又ハ其ノ宣傳ト云フコトガゴザイマスガ、是デモ一年以上十年以下ノ懲役デアリマス、刑ノ重サニ付キマシテハ、矢張り内亂ノ豫備ト少シモ違ハナイ刑ヲ盛ッテ居リマスカラ、彼此別ニ内亂ヨリモ特ニ重イトカ、特ニ輕イトカ云フコトハナイノデアリマス、五年前ノ今日ノア、云フ不祥ナ事件ガ起リマシタコトヲ阻止シ得ナカッタコトハ誠ニ遺憾デアリマスガ、其ノ責任ハ寧ロ内亂ノ豫備ヲ爲シタル者ヲ早期ニ偵察シ得ナカッタコトノ責任デアリマシテ、寧ロ此ノ法規ヲ作ラナカッタコトノ責任ヨリモ、其ノ方ニ私ハ大キナ責任ヲ負擔セシムベキモノデヤナイカト思フノデアリマス、實ハ内亂ノ豫備ガ既ニモウ相當ニ重クナツテ居リマスノデ、此ノ刑罰ニ依ッテ國家ハ十分ニ取締リ得ルノニ拘ラズ、其ノ取締ヲ爲シ得ナカッタト云フ、其處ニ遺憾ノ點ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス

○山岡萬之助君 内亂罪ト結ビ付ケテ段々御話デアリマシタガ、内亂罪ノ目標トナツテ居ル所ノモノハ朝憲案亂デアリマシテ、此ノ朝憲案亂ハ非常ニ廣イ意味デ國體ノ關係モ入ッテ來ルデアリマセウガ、無論政體ノ關係ハ此ノ中ニ朝憲ヲ紊亂スルト言ヘバ入ッテ來ルト考ヘルノデアリマス、ソコデ内亂罪ノ豫備、陰謀デ行ケルト云フ御説明デアリマシテ、内亂罪ハ暴力行爲、暴動ヲ爲スノ

デアリマスカラ、暴動ノ豫備、陰謀ト此處迄來レバ、此處ヘ行キマスケレドモ、假ニ暴動ト云フ目標ヲ置イテ行キマシテモ、豫備、陰謀迄行カケレバナラヌノデアリマス、今日ノ問題ハ、結局サウ云フ風ナ舊イ概念のナ法律關係デハモウ足ラナクナッテシマッテ、思想的ニナッテ來タ、ダカラシテ左右ノ思想ハ、左ノ思想ヲ取締ルト言フナラ右ノ方ノ思想モ……要スルニ思想ヲ醇化シテ行クコトガ今日ハ一番大事ナ問題ダト私ハ思フノデス、ドウモ政府ノ方ハ、左傾ノ方ハ思想ト云フケレドモ、右傾ノ方ハサウデヤナイ、形ノ上ニ現レタルモノヲヤッテ行ケバ宜イト云フ所ニマダ考ヘ方ガアルノデヤナイカ、要スルニ此ノ内亂罪目標ハ宜イノデス、ケレドモソレ以下ノ思想一ツ其處ヘ持ッテ行カウト云フノデ、此ノ宣傳ハ協議シテ居ルト云フノハ手ガ著ケラレナイカラ、其處ハ何カ一ツ考ヲ致シテ行ク必要ガアル、暴力ヲ目標ニ置イテモ、既ニ思想的ニ適當ナ處置ヲスル必要ガアル、又暴力迄行カヌデモ、政府ヲ顛覆シ、邦土ヲ僭竊シ、或ハ朝憲ヲ紊亂スル、其ノ中デ暴力デナケレバ出來ナイト云フ部分ヲ除イタ、暴力デナクテモ出來ル方法ガアル、今日ノ時代ハ私ノ申ス迄モナク、國防保安法案ガ出來テ、謀報ト云フコトヲ非常ニ問題ニシテ、秘密ノ戰デアルト云フ迄既ニ進ンデ居ルノデスカラ、今更喋々ト述ブル必要ハアリマセヌ、ダカラ思想戰ニナッテ來テ居ル、ソレデ矢張り一ツ此ノ規定モ思想ノ問題ニ置イテ、何カ朝憲紊亂ノ團體の行動デ暴動ニ行カズシテ國家ノ機能ヲ潰滅スルト云ツコトニ對シテ、適當ナル處置ヲ執ラレル必要ガアルヤニ考ヘマスノデ、是モ

結局此ノ案直接ノコトデハナイ譯デ、段々御話ノアリマシタヤウニ、不法團結ノ法律ヲ御出シニナツタコトモアルト云フノデスガ、ソレヲ今一步進メテ、ドウモ思想トシテソレデヤ取締ハ出來ナイト云フ段々今朝來ノ御話デアリマスルケレドモ、ソレハマア成ル程ムツカシイニハ違ヒナイケレドモ、今日防止スル所ハ其處ニ在ルノデアラウト思フノデアリマス、一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ問題ニ關シテハ私ハ此ノ程度デ……

○次田大三郎君 我一應質問ハ打切ツタノデアリマスガ、只今ノ山岡君ノ御質問ニ對スル政府ノ御答辯ニ關聯シテ、念ノ爲今一應質問ヲシテ置キタイノデアリマス、ソレハ只今國體ト政體トノ區別ニ關シテ明快ナル御説明ヲ戴キマシタ、ハ感謝致シマス、處ガ昨日司法大臣ガ私ノ質問ニ對シテ御答ニナリマシタ其ノ御答辯ノ中ニハ、政體ト國體トノ區別ニ關シテ、只今ノ御説明ニ矛盾スルヤウナ御答辯ガ幾ラモアルノデアリマス、私丁度今速記録ヲ受取りマシテ、速記録ニ付テ調べテ見マシテモ、幾ラモアルノデアリマス、ソコデ私ノ伺ヒタイノハ、政府ハ色々研究ノ上今日ノ答辯ヲ準備ナサレタト云フコトデアリマスルカラ、只今ノ御答辯ガ政府ノ本當ノ御考デアル、昨日ノ大臣ノ御説明中ニ、只今ノ御答辯ト兩立シナイ矛盾シテ居ルト考ヘラレル點ハ、是ハ御取消ニナツタモノト考ヘテ宜シウゴザイマセウカ、ソレヲ念ノ爲伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(三宅正太郎君) 實ハ私マダ昨日ノ大臣ノ答辯ヲ直接承ツテ居リマセヌシ、又速記録モマダ拜見致シマセヌノデ、ドウ云フ點ニ違ヒガアルカ分リマセヌノデゴザイマスカラ、尙能ク取調ベマシテ御返事ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ドウカ次田委員モ能ク一ツ御調ヲ願ヒマシテ、其ノ上デ又致シマス

○田口弼一君 今山岡委員カラチヨット御尋ガアリマシタガ、ソレト似タヤウナコトニナリマスガ、朝憲ヲ紊亂スル目的ヲ以テ暴動ヲ起シタル者デアルトカ、或ハ其ノ未遂トカ、豫備、陰謀ハ内亂罪ヲ以テ處罰セラレルトコトハ、刑法ニ規定シテ居ル所デアリマシテ、其ノ刑罰モ相當ニ嚴格ナモノデアリマスガ、此ノ朝憲紊亂ト云フ中ニ、議會制度否認ノ如キモノガ含マレテ居ルノダト云フヤウナコトハ、政府ノ方ノ御答辯ニ依ッテ略、伺フコトヲ得タ譯デアリマスガ、此ノ改正案ヲ見マスルト、第五條ノ方ニアリマスル所ヲ見ルト、其ノ目的タル事項ヲ煽動シ、其ノ他其ノ目的ヲ遂行スル爲ニスル行爲ヲ爲シタル者ト云フノガアリマシテ、此ノ國體變革ト共ニ私有財産ノ方ニ關シテモ同様デ、此ノ私有財産ノ方ハ、其ノ目的タル事項ノ實行ヲ煽動シト一條ニアルヤウデアリマスカラ、殆ドサウ云フ煽動デアルトカ、宣傳デアルトカ云フコトガ處罰サレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ朝憲紊亂ニ對スル煽動の行爲デアルトカ、或ハ教唆の行動ト目サレルヤウナモノニ對シマシテハ、現行法ニ依リマシテハ、何カ取締ノ方法ガゴザイマスノデスカ、此ノ點チヨット御伺ヒ致シタイ

○政府委員(三宅正太郎君) 實ハ私マダ昨日ノ大臣ノ答辯ヲ直接承ツテ居リマセヌシ、又速記録モマダ拜見致シマセヌノデ、ドウ云フ點ニ違ヒガアルカ分リマセヌノデゴザイマスカラ、尙能ク取調ベマシテ御返事ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ドウカ次田委員モ能ク一ツ御調ヲ願ヒマシテ、其ノ上デ又致シマス

○田口弼一君 今山岡委員カラチヨット御尋ガアリマシタガ、ソレト似タヤウナコトニナリマスガ、朝憲ヲ紊亂スル目的ヲ以テ暴動ヲ起シタル者デアルトカ、或ハ其ノ未遂トカ、豫備、陰謀ハ内亂罪ヲ以テ處罰セラレルトコトハ、刑法ニ規定シテ居ル所デアリマシテ、其ノ刑罰モ相當ニ嚴格ナモノデアリマスガ、此ノ朝憲紊亂ト云フ中ニ、議會制度否認ノ如キモノガ含マレテ居ルノダト云フヤウナコトハ、政府ノ方ノ御答辯ニ依ッテ略、伺フコトヲ得タ譯デアリマスガ、此ノ改正案ヲ見マスルト、第五條ノ方ニアリマスル所ヲ見ルト、其ノ目的タル事項ヲ煽動シ、其ノ他其ノ目的ヲ遂行スル爲ニスル行爲ヲ爲シタル者ト云フノガアリマシテ、此ノ國體變革ト共ニ私有財産ノ方ニ關シテモ同様デ、此ノ私有財産ノ方ハ、其ノ目的タル事項ノ實行ヲ煽動シト一條ニアルヤウデアリマスカラ、殆ドサウ云フ煽動デアルトカ、宣傳デアルトカ云フコトガ處罰サレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ朝憲紊亂ニ對スル煽動の行爲デアルトカ、或ハ教唆の行動ト目サレルヤウナモノニ對シマシテハ、現行法ニ依リマシテハ、何カ取締ノ方法ガゴザイマスノデスカ、此ノ點チヨット御伺ヒ致シタイ

○田中弼一君 教唆ト言ヒマス、教唆ノ範圍ハ色々ナシテ居ルカモ知レマセヌガ、明カニ教唆ニ該當セラレルモノハ教唆ノ犯罪トシテ處罰ガアリマスシマシテ、昨日チヨット私申上ゲマシタ北一輝ノ禁止ニナツタ著述ノ如キモノハ、是ハ明カニ教唆ト云フノデヤナイカモ知レマセヌガ、非常ナ矢張り教唆の著述デアルヤウニ見エルトデスネ、誰ヲドウスルト云フノデハナクテ、宣傳ト云フヨリ寧ロ非常ナ教唆の著述デアッタヤウニ思フノデアリマスガ、ア、云フ風ノモノハ、昨日ノ御話ヲ承ルト、何等取締……唯發賣禁止ヲシタダケデアッテ、何等處罰ガナカッタヤウニ承リマスガ、斯ウ云フモノハ今迄ハ何等法規ガナクシテ處罰セナカッタノデアリマスガ、規定ガアリマシテモ、處罰スル程ノ程度ニ達シテ居ラヌト云

フ譯デ御處罰ニナラナカッタノデアリマスカ、チヨット此ノ點ヲ……

○政府委員(三宅正太郎君) 文書ニ依リマシテ、左様ナ朝憲案ニ關スルコトヲ公ニ

致シマスル場合ニ於テハ、新聞紙法、又出版法ガゴザイマシテ、ソレノ處罰セラレ

ルコトニナツテ居ルノデアリマス、デスカラ今御言葉ニアリマスル北一輝ノ出版物モ、

ソレガ若シ朝憲案、アノ出版法若シクハ新聞紙法ニ當ルト致シマスレバ、處罰サレ

テ然ルベキデアツタ譯デアリマス、ドウ云フ關係デ實際ニ於テ處罰サレナカッタカハ、

チヨット取調ベナイト分リマセヌガ、元來處罰シ得ル譯デアリマス

○田口弼一君 憲法ヲ停止スルト云フヤウナ事柄ハ、非常ナ私ハ重大ナコトデアリマ

シテ、或意味カラ言ヘバ是ハ矢張り國體ノ變革ニモナレバ、内亂罪ニモ該當スルヤウ

ナ重大ナ事柄デヤナイカト思フ、唯年限ヲ切ツテ或ハアツカモ知レマセヌガ、年限ヲ

切リマシテモ、日本ノ憲法ヲ無期ニ停止スルコトヲ主張スルト云フコトニナレバ、是

ハモウ明カニ國體ノ變革ヲスルコト迄モ意味スルコトニナツテ、サウ云フ憲法ハ無期

延期シテ、憲法ハ有ツテモ無イト同ジヤウナ風ニナルシ、ソレカラ且憲法ニ規定

セラレタル、統治機關ノ機能ヲスツカリ停止シテシマフト云フヤウナコトハ、是ハ重大

ナ問題デアラウト思フノデアリマスガ、治安警察法ハ今度ノ改正ト違ヒマシテ、團體

ノ方デ、治安維持法ノ適用ハナカッタデアリマセウケレドモ、ア、云フ議論ガ出テ來タ

コトガ、後ニ非常ナ結果ヲ齎シテ來タモノト私ナンカ想像スルノデアリマスガ、サウ

云フモノニ對シテノ今迄ノ取締リ方ガ非常

ニ緩ヤカデ、ア、言フモノヲ見テモ檢察當局ノ方デモ、サシタルモノデヤナイト云フ

ヤウナ、影響スル所モ餘リ御考ニナラズニ、

放任シテ居リマシタノデアリマスカドウデスカ、其ノ當時ノ事情等モ御分リデアリマ

シタラ、少シ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 只今ノ憲法ノ一時停止ト云フコトハ、非常ニ廣イ意味ヲ

含ンデ居リマス、若シソレガ憲法ノ第一條、第二條ト云フヤウナモノ迄モ停止スルト

云フコトデアリマスレバ、國體變革ニ當ルコト疑モナイコトデアリマス、併シ其ノ人

ノ意圖スル所ハ憲法ノ何レノ條章ヲ停止スルコトヲ目的トシテ居ッタノカト云フコトニ

依ツテ、又結論ガ多少相違致シマス、何レニ致シマシテモ朝憲案ノ事項デアルコトハ

疑ヒモナイノデアリマス、ドウ云フ譯デソレヲ出版法、新聞紙法等ニ依ツテ處罰シマ

セヌデシタカト云フコトニ付テハ、出來得ル限り取調ベマシテ、後ニ御返事申上ゲタ

イト思ヒマス

○織田萬君 只今迄ハ國體ト政體トノ區別ニ關シテノ質問竝ニ説明デアツタノデアリマ

スガ、私ハ是ト對蹠的ノ角度ト言ヒマスカ、其ノ角度カラシテ明瞭ニシテ置カナケレバ

ナラスト思フノハ、民族獨立問題デアリマス、一昨日ノ本會デアリマシタガ、政府委

員カラ民族獨立運動ハ、國體ノ變革ニ關スルモノトシテ、取締ルノデアルト云フコト

ヲ御説明ニナツタヤウデアリマスガ、先ヅ第一ニ伺ヒタイコトハ、此ノ民族獨立運動ニ

關シテ治安維持法ヲ適用サレタコトガアルノデアルカ、又其ノ法律上ノ見解ハ、此ノ

適用ニ依ツテ既ニ裁判上ノ事實トシテ現レテ、裁判所ノ意見トシテ、民族ノ獨立ハ國體ノ變革ニ外ナラヌモノデアルト云フヤウナコト迄定ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ヲ第一ニ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ次ニ民族ノ獨立ト云フコトハ、ドウ云フコトヲ意味スルノデアルカ、言ヒ換ヘレバ如何ナル範圍ニ迄其ノ問題ガ及ブノデアルカ、民族ノ獨立ガ最も極端ニナルモノトシマスレバ、具體的ニ言ヘバ現ニ日本ノ統治權ノ下ニアル、日本民族ト違フタ異民族ガ全然統治權ノ支配ヲ離レテシマツテ、從ツテ日本帝國ノ領土ヨリ離レテ、特別ナ地域トナルト云フコトガ、之ガ獨立トシテ著シイモノデアラウト思ヒマスガ、其ノ外ニ行政上ノ獨立ト言ヒマスガ、他民族ノ、其ノ民族ノ住スル地域ノ内ニ於テハ自治、行政上ノ自治ヲ得タイト云フコトノ運動、是ハモウ或程度迄今日迄行ハレテ來テ居ルコトデアラウシ、又將來ト雖モ必ズ實現サレルモノデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ更ニ今日日本デハ、全ク問題ニサレテ居リマセヌケレドモ、私ノ常ニ憂ヘテ居ルハ國語ノ獨立デアリマス、是ハ外國ノ、殊ニ近年問題トナツテ大イニ重大ノ問題ニナツテ居リマス、此ルギーノ「フラマン」語ノ如キデアリマス、此ノ問題ヲ私ハ常ニ對岸視スルコトハ出來ナシ、日本ニ於テモ餘程考ヘナケレバナラヌ問題デアナイカト云フコトヲ痛感シテ居ル一人デアリマスガ、今後ハ一地方ノ方言サヘ、是ハ決シテ滅ビルモノデハナイ、況シテ一ツノ國語トシテ、歴史的ニ成立ツテ居ルモノガ滅ブルト云フコトハ到底アリ得ベカラザルコトデアル、デアルカラ日本ニ於テモ異民族ノ言葉トナツテ居ル、具體的ニハ朝鮮語、臺灣語ト云フモノガ、他日獨立問題ヲ起シハシナイカト云フコトヲ私ハ今日

カラ憂ヘテ居ルノデアル、從ツテ之ニ對シテハ今日カラ餘程重大ナ關心ヲ以テ何トカシナケレバナラヌト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、デスウ云フコトモマア民族獨立ノ問題デアツタノデアリマスガ、要スルニ民族ノ獨立問題ト云フコトハ色々ノ方面カラ考ヘラレルノデアルガ、此ノ治安維持法ヲ以テ取締ラウトセラレル所ノ民族獨立ト云フコトハ、ドウ云フ事實、ドウ云フ範圍ヲ目度トサレテ居ラレルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 民族ノ獨立運動ニ付キマシテハ、其ノ中デ治安維持法ニ觸レルベキモノト見テ、大審院、竝ニ朝鮮ノ最高法院デ既ニ確定シタ判例ガゴザイマス、併シナガラ其ノ何レガ國體ノ變革ニ當ルカト云フ場合デアリマス、ソレハドウ云フ範圍カト申シマス、即チ譬フ朝鮮ニ取ツテ申シマス、朝鮮人ノ或者ガ朝鮮ノ民族ノ獨立ヲ策シテ、サウシテ朝鮮ニ於ケル日本ノ 天皇陛下ノ統治權ヲ排除シマシテ、彼等自ラ其處ヲ統治シヨウト云フ、即チ天皇陛下ノ統治權ヲ排除スルト云フ其ノ主張ガアリマス場合ニハ、國體變革ニ當ルノデアリマス、只今仰セノヤウナ、其ノ以外ニ於テ日本ノ 陛下ノ統治權ヲ別ニ排除スルモノデハナク、唯其ノ下ニ於テ自治ヲ求メタイ、或ハ國語ノ獨立ヲ得タイト言ヒマス、併シナガラサウ云フ場合ニ於キマシテモ 陛下ノ統治權ヲ認メナガラモ、其ノ朝鮮ノ獨立ヲ謀ツテ、私有財産制度ヲ否認スルト云フヤウナ方法ヲ採ツタ事例ガゴザイマス、デアリマスガ、私有財産制度ヲ否認スル結社トシテ朝鮮共產黨ト云フモノヲ處罰シ

タ、是ハ大審院ノ判例デゴザイマスガ、サ
ウ云フ判例モゴザイマス、デスカラソレハ
國體變革デナイ、私有財産ノ否認トシテ處
罰致シテ居リマス、只今申上デマシタヤウ
ニ 天皇陛下ノ統治權ヲ排除スルノデハナ
イ限リ國體ノ變革ハ治安維持法ニ觸レルコ
トハナイト、斯ウ御了承ヲ願ヒタイノデア
リマス

○織田萬君 天皇陛下ノ統治權ヲ排除ス
ルト云フコトヲ伺ヒマシタガ、ソレハ結局
マア具體的ニ申上デマスレバ、朝鮮ガ所謂
獨立ヲシテ日本帝國ノ統治ノ下ニ統治ヲ離
レルト云フコトト同ジコトデアリマセウガ、
唯日本帝國ノ領土デアリナガラ 陛下ノ統
治權ノ下ニ服從シナイ、サウ云フ意味ニ取
ルノデアリマセウカ、其ノ點ニ依ッテ又自ラ
法律上ノ見解ガ違フノデハナイカト思ヒマ
スガ……

○政府委員(三宅正太郎君) 此ノ「日本帝
國ハ萬世一系ノ 天皇之ヲ統治ス」ト云フ
此ノ憲法上ノ條章、此ノ條章ガ即チ國體ト
ナツテ居ルノデアリマスカラ、朝鮮ニ於キマ
シテモ假ニサウ云フ只今仰セノヤウナコト
ガゴザイマシタナラバ、何レモ國體變革ニ
當ルト思フノデアリマス

○織田萬君 異民族ノ統治ノ下ニ統治シテ
居ツタ土地ガ、今日日本領土トナツテ居ル、其ノ
地域ガ更ニ獨立シテ日本ノ統治ノ下ニ服サ
ナイト云フコトガ國體ノ變革ト云フコトニ
ナルトシマスルト、其ノ逆ニ其ノ地域ガ日
本ノ領土ノ一部トセラレタ時、即チ朝鮮ガ
我が國ニ合併セラレタ時ニハ、日本國體ノ
變革ニナツタト云フコトニナルデセウ、ドウ
モ論議上ノ結果、サウ云フコトニナリヤシ
ナイカト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 私ハ左様ニハ
存ジナイノデアリマス、日本ノ統治權ノ
天皇陛下ノ統治權ノ作用ハ廣ク、且大イナ
ルモノデアリマシテ、其ノ及ビマス所ハ、
若シ其土ガ廣マリマスレバ、幾ラデモ廣
マリ得ル力ヲ御持チニナツテ居ルノデアリ
マスカラ、假令其ノ御行使ニナリマスル統
治權ノ地域ガ廣マリマシテモ、ソレハ唯一
箇ノ統治權ノ作用スル處ガ廣マッタト云フ
コトニ止マツテ居ルト思フノデアリマス、十
分ニ御質疑ガ分ラナイデ申上ゲルノカモ知
レマセヌガ……

○織田萬君 私ノ申上ゲルノガ惡カッタノ
カモ知レマセヌガ、我が國體ガ何デア
ルト云フコトヲ憲法ノ明文ノ上カラ見ルベキ
モノハ申上迄モナク第一條デアリマス、「大
日本帝國ハ萬世一系ノ 天皇之ヲ統治ス」ト
アルノガ、即チ我が國體ノ條章デアアルノデ
アリマスガ、帝國ハ領土ト、臣民ト、サウ
シテ萬世一系ノ 天皇ヲ戴イテ居ル、之ニ
依ッテ我が國體ガ出來テ居ル譯デアアルノデ
アリマス、萬世一系ノ 天皇ノ統治ノ下ニ
アルト云フコトハ、是ハ建國以來何等變更
サル、所ナク、所謂天壤無窮ノモノトシテ
我々ハ考ヘナケレバナラスコトデアリマス
ガ、帝國ノ領土及ビ臣民ニハ實際ノ事實ニ
付テ見レバ其ノ變更アリ得ルノデアリマ
ス、帝國ノ領土ガ廣マルト云フコトモアレ
バ、又是ハサウ云フ不祥ナコトハ萬々ナイ
コトデアリマスルケレドモ、帝國ノ領土ノ
一部ヲ割讓スルト云フコトモ、マア是ハアリ
得ルコトデアル、從ッテ臣民モ、我が帝國ノ
臣民デアッタ者ガ他國ノ臣民トナルト云フ
コトモ、是モアリ得ルコトデアリマス、其
ノ領土ヤ臣民ノ變更ト云フモノハ國體ノ變

革ト云フコトニハ私ハ關係ナイコトダト思
フ、サウスルト云フト所謂民族獨立ノ運動
ト云フモノガ帝國ノ領土ニ變更ヲ及ボシ、
或ハ臣民ノ上ニ差異ヲ生ズルト云フヤウナ
コトガアツテモ、國體ノ變革ト云フヤウナ
コトニハドウモ法律上認ムベキモノデヤナイ
ト云フ疑ヲ私ハ有ツノデアリマス、ソレデ
ソレ等ノ運動ガ、他ニ取締ルベキ法律ガナ
ケレバ兎ニ角、先刻カラモ段々問題トナリ
マシタヤウニ、内亂罪ヲ以テ政體ノ變革ト
云フヤウナコトヲ企ツル者ヲ取締ルト云フ
コトデアレバ、民族獨立ノ問題ハ、治安維
持法ノ支配ニ屬スルモノデナクシテ、内亂
罪ノ規定ヲ受クベキ的確ノ事實デハナイカ
ト私ハ思フノデアリマス、ソレハ政府ニ於
テ見解ノ違ヒダト云フコトデアレバ、マア
ソレ以上ニ私ハ御尋ネシテモ無理デアアルカ
モ知ラス、唯茲ニ我々トシテ考ヘナケレバ
ナラスコトハ、若シ此ノ民族獨立ノ運動ガ
治安維持法ノ國體ノ變革ニ關スルモノトシテ、
治安維持法ノ支配ヲ受ケルト云フコトガ、
極ク公平ニ見テ、局外カラ考ヘテ少シハ
無理ナ解釋デアアル、謂ハバ曲解デアルト云
フヤウナコトニデモナリマスレバ、異民族
ニ對スル關係ニ於テ、異民族ヲシテ日本ノ
政治ハ自ラ作ツタ法律ヲモ曲解シテ我々
ヲ取締ルンダト云フヤウナ感ジデモ起サセ
ルト云フコトハ、異民族統治ノ上ニ於テ却
テ惡イ影響ヲ惹キ起スコトニナル、或ハ其
ノ獨立運動ヲ激成スルト云フヤウナ機會ト
モナラストモ限ラヌト思フノデアリマス、
其ノ點カラ此ノ法律上ノ御解釋ヲ一ツ慎重
ニ考ヘテ行ク必要ガアルノデヤナイカト私
ハ思ヒマスカラ、ソレデ特ニ其ノ點ヲ明確
ニ致シテ戴キタイト云フ御尋ヲシタノデア

リマス

○政府委員(三宅正太郎君) 織田先生ノ御
言葉能ク分リマシテゴザイマス、御言葉ノ
中ニゴザイマスヤウニ、其ノ點ニ付テ先生ガ
御疑問ヲ御懷キニナリマス點ノゴザイマス
コトハ、能ク私共ノ方ニモ分リマシタノデ
ゴザイマスガ、唯此ノ問題ハモウニ既ニ夙
ニ大審院ノ判例決ツテ居リマスコトデア
リ、既ニ法ノ解釋トシテモ有權的ニナツテ居
リマスノデ、今日ト致シマシテモ、矢張り
其ノ趣旨判斷ヲシテ行ク外ハナイカト思
フノデアリマス、唯異民族ヲシテ非常ニ僻
ミヲ起サセナイヤウナ用意ハ十分ニ致サ
ナケレバナラスト存ジマスノデ、御議論ノ點
ハ能ク拜承致シマシテ、篤トサウ云フコト
ニ付テノ行キ過ギノナイヤウニ考ヘタイト
存ジテ居リマス

○山隈廣君 第六十五議會ニ於マシテモ、
治安維持法改正案ガ御提出ニナリマシテ、
本改正案ト同様ニ豫防拘禁ニ關スル規定モ
掲ゲラレテアツタノデアリマスガ、其ノ當時
ノ特別委員中、私モ委員ノ一名デアリマシ
テ、政府案ヲ支持致シマシタガ、其ノ他ノ
私ヲ除ク全部ノ委員ハ豫防拘禁制度ニ關ス
ル規定ハ削除スベシト云フコトノ修正動議
ガ通過致シマシテ、更ニ本會議ニ於キマシ
テモ、私ヲ除クノ外殆ド滿場一致ヲ以テ豫防拘
禁ニ關スル削除ノ修正案ノ可決ヲ見ルニ至
ツタ次第デアリマス、其ノ法律上ノ根據ト致シ
マシテ、第一ハ豫防拘禁ハ裁判所ノ決定ニ依
ル司法處分デアアル、而シテ其ノ拘禁ノ期間
對スル方針ニハ制限ガナイ、場合ニ依レバ
無期刑ト同様ナル拘禁ヲ爲スコトガ出來ル、
斯様ナ重大ナル處分デアアルガ、裁判所ノ決
定デアアルカラ裁判所ハ國務大臣ガ左右スル

コトノ出来ナイ獨立ノ機關デアル、從ツテ此ノ強制處分ニ對シテハ何人モ責任ヲ負フ者ガナイコトニ相成ル、ソレハ不都合デハナイカト云フノガ第一ノ反對デ、第二ノ反對理由ト致シマシテハ、豫防拘禁ハ物理的ノ罪惡、即チ眼前ニ危險ノ迫ツタモノ、殺人、強盜ノ如キモノ、之ヲ拘禁スルト云フコトヲ本旨トスルト云フコトハ萬國ノ刑法會議デ決定サレタコトデアル、精神的ノ犯罪、殊ニ思想上ノ犯罪ニ付テハ出獄後更ニ宣傳、煽動、協議、集會、支援等ヲ爲スニハ相當ノ餘裕ガアル、危險ガ眼前ニ迫ツタモノデハナイカラ、是等ヲ豫防拘禁ノ對象トスルト云フコトハ本來ノ精神ニ反スルト云フノガ第二ノ反對理由デアル、第三ノ理由ハ出獄後改悛ノ情ガナク更ニ再犯ノ危險ガアル、ト斯ウ云フ理由ヲ以テ豫防拘禁ヲ認ムルトスルナラバ、皇室ニ對スル罪、内亂ニ對スル罪、外患ニ對スル罪ノ如キモノガ其ノ犯罪人ガ刑期ガ滿チテ出獄後更ニ是等ノ犯罪ニ參加スル危險ガアルト認メタ場合ニ於テモ尙豫防拘禁ヲ擴充セナケレバナラスガ、サウスレバ結局其ノ行政處分ニ依ッテ司法權ヲ侵害スル結果ヲ生ズルデハナイカト云フノガ第三ノ事由デアッタウデス、第四ノ事由ト致シマシテハ何モ出獄後改悛ノ情ガナク、ソレヲホツタラカシテ置ケバ危險デアルトスルナラバ、寧ロ不定期刑ニ依ッテ處罪ヲシテハドウカ、サウスレバ不定期刑ハ裁判デアッテ慎重ニ刑ノ言渡シヲシタル其ノ刑ノ範圍内ニ於テ處置スルノデアルカラ、國民ハ其ノ處置ニ對シテ其ノ公正ヲ疑ヒ、若シクハ人權蹂躪ト云フガ如キ非難ヲ生ズル虞レガナイデハナイカ、ト斯ウ云フ反對ノ見解ニ、他ノ委員更ニ本會議ノ議員

ノ方々ガ全部同一ノ意見ノ下ニ修正ニ贊同サレタノデアリマス、而シテ其ノ當時ノ特別委員ハ今日ノ特別委員トシテオイデニナル御方ガアリマスシ、又本會議ニ於テハ大多數ソレ等ノ法理上ノ見地ニ基イテ修正案ニ贊同サレタ方々ガ現ニ多數オイデニナリマス、其ノ中ノ二三ノ方ハ矢張り前説ヲ固持サレテ、其ノ説ガ至當デアルト云フ意見ヲ有ッテ居ル方ヲ二三私ハ耳ニシタ譯デアリマス、私共ハ左様ナ反對論ニ對シテ贊同ヲ表スルモノデハリマセスガ、此ノ際此ノ反對事由ガ豫防拘禁ヲ阻止スル何等ノ事由ガナイト云フコトヲ、政府當局デ明快ニ一ツ御説明ヲ願ヒマシテ、今度ハ滿場一致ヲ以テ豫防拘禁ノ説ニ合セテ此ノ治安維持法ノ改正案ノ全部ノ通過ヲ希望スル爲ニ、一ツ其ノ反對ニ對シマスル擊破スルダケノ有力ナル御説明ヲ伺ヘレバ大變結構ダト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 此ノ前ノ豫防拘禁ニ付キマシテ反對論ノゴザイマシタ點ハ確カニ私共モ承認シ居リマスシ、尙篤ト考慮致シマシタノデス、先ツ御非難ノ第一ト致シマシテ、裁判所ガ斯ウ云フ豫防拘禁ノ如キ行政處分ノ措置ヲ執ルコトガ果シテ至當デアルカドウカト斯ウ云フ問題デアリマスガ、御承知ノ通り豫防拘禁ハ人身ヲ拘禁スル重大ナ制度デアリマシテ、而シテ此ノ人身ヲ拘禁スルコトガ必要デナケレバ仕方ガアリマセスガ、假ニ若シ之ガ必要ガナイト云フコトニナリマスレバ其ノ人身ヲ拘禁スベキ決定ヲ爲スモノハ裁判所ヲ以テスルノガ何ヨリモ宜シイノデアリマシテ、其ノ必要ガナケレバ仕方ガアリマセスガ、アル以上裁判所ノ處置ニ依ッテ決メルト云フコトガ最モ公平デアリ、其ノ結果ニ於テモ最モ宜シイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ不定期刑ニシタラ宜イデハナイカ、是ハ確カニ不定期刑ト云フコトモ確ニ考究スベキ問題デアリマシテ、是ハ私達ノ方モ豫防拘禁並ニ不定期刑兩制度ヲ併セ採ツタラドウカ、ト云フコトハ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、併シナガラ實際ハ今日ドウシテ豫防拘禁ヲ此處ヘ提案致シマスルカト云フト、其ノ必要ガ餘リ切實デアリマシテ、其ノ切實ナル點ヲ考ヘマスルト今不定期刑ナゾヲ申シテ居ルノデハ間ニ合ハナイノデアリマス、是カラ不定期刑ニナル治安維持法違反ノ犯人ハ不定期刑デ宜シウゴザイマスケレドモ、既ニモウ幾多ノ入獄シテ居リマス者ガ更ニソロソロ出獄セムトシテ居ル狀況デアリマスノニ、今更ソレニ對シテ不定期刑ハ科シ得ナイノデアリマスノデ、聊カ對策トシテハ現在ノ緊切シタ事情ニ應ジ得ナイ形ガゴザイマスノデ、不定期刑ノ議論ハ兎モ角ト致シマシテ、此ノ豫防拘禁ハ是非共今日必要デアアル、斯ウ云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、此ノ豫防拘禁ガ何故必要カト云フコトハ是ハ私ガ今此處デ縷々申上ゲマセスデモ、先般來司法當局並ニ內務當局カラ實際ノ事例ヲ申上ゲマシテ、如何ニ非轉向ノ革新犯人ガ刑務所カラ出マスヤ否ヤ、寧ロ出マスヤ否ヤデヤナイト思ヒマス、寧ロ刑務所ニ居ル間カラ既ニ計畫シテ、サウシテ出獄致シマシテ、直グ直チニ地下ニ潛ツテ其ノ運動ヲ始メテ居リ、而モ彼等ハ多年牢獄ニアリマシテ不自由ニハ堪ヘ忍ブダケノ習慣ヲ持ッテ居リマス、其ノ爲ニ如何ナル苦惱ヲモ堪ヘ忍デ自己ノ確信ニ向ッテ邁進スルト云フ恐レベキ力ヲ持チ、又其ノ氣魄覺悟ニ於テ

相當人ノ心ヲ搏ツモノガアルノデアリマス、デアリマスカラ、彼等ノ傳播力ノ恐レベキコトハ一般ノ現在ニ於テ捕ヘテ行クト云フ者ニ比較シテハ殆ド比ベ物ニナラス程ノ猛烈ナルモノデアリマシテ、ソレガ今ヤ續々トシテ刑務所ノ門ヲ出ムトシツ、アル場合ニ於キマシテ、ドウシテモ豫防拘禁ト云フコトニ依ッテ之ヲ抑ヘルヨリ外ハナイト斯ウ考ヘタノデアリマシテ、是ハ寧ロ司法省トシテハ已ムヲ得ザル、又今日ニ於テ之ガナケレバ今後ノ思想對策ト云フモノノ確立ヲ期シ難イト迄考ヘテ居ル次第デアリマス、デアリマスカラ、ドウカ是ハ此ノ以前ニ於キマシテノ御議論ノ際ハ時勢ガ、情勢ガソレ程ノ事實ヲ證明シテ居リマセスデシタケレドモ、今日ハ著々トシテ其ノ事實ヲ指摘シ得ルダケノコトガ眼前ニ起ツテ居リマスノデ、國家ノ重大ナ時期ニ當リマシテ是程ノ損害ハナイノデアリマスカラ、此ノ點ハ現在ノ情勢ヲ篤ト御覽下サイマシテ御判斷ヲ願ヘバ、政府ノ提案ニ御贊成ヲ戴ケルモノト確信致シテ居ルノデアリマス、尙最後ニ此ノ犯罪デナク外ノ皇室ニ對スル犯罪トカ、或ハ内亂罪トカ云フモノヲ何故豫防拘禁シナイカト云フ御議論ガゴザイマシタガ、之ニ對シマシテハ治安維持法違反ノ犯罪者ハ即チ確定犯人、自己ノ思想ト云フモノヲ堅ク護リマシテソレニ向ッテ邁進シテ居ルト云フ所謂思想犯人デアリ、確信犯人デアリマス、是等ニ對シテ先ツ豫防拘禁ヲ施スノハ實ニ已ムヲ得ナイコトダト思フノデアリマシテ、其ノ他ノ者ニモドンノ豫防拘禁ヲ及スコトハ只今御言葉ニアリマシタウニ、豫防拘禁ト云フモノガ制限ナク豫防拘禁サレル結果、人心ノ拘束ヲ非常ニ大キクスル

ト云フコトノ點ニ鑑ミマシテ、餘リニ大キク其ノ範圍ヲ擴大スベキモノデハナイト思ヒマスノデ、先ヅ此ノ確信犯人ニ對シテ豫防拘禁ヲ施サウト、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第デアリマス

○山隈康君 私ハ政府ノ案ニ贊成スル一人デアリマスルカラ、質問ガ甚ダ弱イヤウナ氣ガ致シマスガ、念ノ爲ニ伺ッテ置キマスガ、此ノ豫防拘禁ハ六十五議會ニ於ケル政府ノ答辯ト致シマシテハ、一面ニハ司法處分デアリ、他面ニハ特殊ノ裁判デアルト云フ御説明ガアツキヤウデアリマスルガ、何レノ御見解デアリマスカ伺ッテ置キマス

○政府委員(三宅正太郎君) 此ノ司法權ノ所謂處分ト申シマス其ノ性質ニ付キマシテハ、廣イ意味ト狹イ意味トゴザイマス、從ッテ狹イ意味ニ於キマシテノ司法權ハ、御承知ノ通り憲法第五十七條ニ明定サレテ居ル所デアリマシテ、民事、刑事ノ訴訟ノ裁判ト云フコトヲ意味スルノデアリマス、併シ廣イ意味ノ司法權ハ、ソレ以外ニ裁判所ノ權限ニ屬スル種々ノ作用、又檢察ノ權限ニ關スル作用迄モ意味スル場合ガアルノデアリマス、デサウ云フ觀點カラ豫防拘禁ノ性質ヲ考ヘマス、豫防拘禁ハ本來ハ行政作用デアリマシテ、狹義ノ司法權ニ屬シナイコトデアリマスケレドモ、裁判所ノ行フ作用デアルト云フコトデ、廣義ノ司法權ニ屬スルコトデアルト云フ解釋ハ、前同述ベタ通りデアリマス

○男爵井田馨楠君 議事進行ニ付テ伺ヒマス、マダ各條ノ御説明ヲ伺ッテ居リマセスカラ、各條章ノ御質問ハ、全體ノ質問ノ濟ンデカラ致サレテハ如何デアリマセウ
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 承知致シマシ

タ、ケレドモ今ノハ各條ニ互ラナイデ、豫防拘禁ニ關スル一般ノ御質問ヲスルコトニシマシテ御許シタノデアリマス
○男爵井田馨楠君 法律ノ全般ニ關リテ色色ト伺ヒタイ部分ガ各所ニアリマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 其ノ積リデアリマス、大體ノ御質問ヲ願ヒマシテ、後デ各章別ニ願ヒタイと思ヒマス、今山隈君ニ御許シタノハ、前段ニ屬スルモノトシテ御許シ致シマシタ

○山隈康君 御差支ガナケレバ今ノ點ヲモウ一遍伺ッテ、ソレト更ニ引續イテ一般ノ質問ヲ午後ニ引續イテ願ヒタイと思ヒマス、只今ノ政府ノ御説明ニ依リマス、廣義ノ一種ノ裁判デアルトスウ致シマスル、期間満了前ニ行政處分ヲ以テ之ヲ釋放スル裁判ノ決定、其ノ裁判デアレバ裁判ノ結果ヲ行政處分デソレヲ釋放スルト云フコトハ、何カ理論ガ一定シナイヤウニ考ヘマス……

○政府委員(三宅正太郎君) 此ノ點ハ例ヘバ刑罰ニ付キマシテモ、刑罰ハ即チ裁判所ノ判決デゴザイマスガ、假出獄ト申シマスルモノハ行政處分ニ致シマスノデアリマスカラ、是等ノコトト御考ヘ下サレタラ宜カラウト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 午前中ハ是デ休憩ヲ致シマシテ、午後一時半カラ再開ヲ致シマス
午後零時四分休憩
午後一時四十二分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ休憩前ニ引續キマシテ開會致シマス
○山隈康君 近時思想犯罪ノ増加ノ傾向ヲ見ルコトハ、頗ル遺憾トスル所デアリマス、

事變ガ久シキニ互リ物資ノ缺乏、生活ニ重壓ヲ加ヘマスニ際シテ、國民ハ生活上ニ不安焦慮ヲ爲シツ、アルノデアリマス、然ルニ一面計畫經濟ト申シマスカ、統制經濟ト申シマスカ、是ガ動モ致シマスト著シキ行キ過ギガアリ、或ハ配給機構、物價公定等ニ付テ著シキ不適當ト申シマスカ、其ノ當ヲ得ナイ點デアリマス、更ニ國民ノ一般生活ノ上ニ不安ヲ生ジマス、焦慮ノ結果何カ斯ウ新シキ世界、新シキ生活ノ途ヲ求メタイト苦心ヲシテ居リマスノガ、僞ラザル今日ノ實情デアリマス、斯ウ云フ不安ニ慄キ、焦慮ヲ致シテ居リマスル際ニ於テ、相當ノ公ノ機關ヲ代表シタ人々ガ盛ニ舊體制ヲ一掃シテ、新體制ニ移ラネバナラス、此ノ時局ハ重大ナ革新ヲ樹立シ、第二ノ維新ニ向ッテ邁進シナケレバナラス、更ニ新シキ國家ヲ建設シテ行クト云フコトガ今日急務デアアル、斯ウ云フヤウナコトヲ極端ニ引例ヲシテ主張サレルコトガアリマス、之ガ貴衆兩院デ屢々問題ニナリマシタル即チ政體變革ニ觸レル譯デアリマス、是等ヲ現在ノ政治機構ヲ改革シ、或ハ財產國有論、奉還ト云フヤウナコトヲ、頗ル矯激ニ互ル言葉ヲ以テ宣傳サレルノデアリマス、サナキダニ、思想ガ幾分動搖シ、不安ニ驅ラレ、新シキ世界、新シキ生活ノ途ヲ求メムト急ッテ居リマス際ニ、現在ノ政治機構デハ不都合デアアル、或ハ、財產ノ奉還ト云フヤウナコトヲ、不謹慎ニ演說若シクハ講話デ主張サレマス爲ニ、其ノ政體變革若シクハ財產奉還論ト云フモノガ、政府ノ方デ屢々御説明ニナリマス如ク、國體變革ヲ目的トセズ、或ハ朝憲案亂ヲ目的トセズ、唯何トシテモ現在ノ機構ヲ變ヘテ見タ

イ、斯ウ云フ思想ガ國民ノ一般ニ浸潤ヲ致シマスレバ、非常ニ國民ハ其ノ爲ニ思想ガ混亂ヲ致シマス、何カ現在ノ世界ヨリモ別ナ世界ガ出來ルンデヤナカラウカ、サウシテ其ノ別ノ世界ハ、我々ノ生活ノ上ニ安定ヲ與ヘルノデヤナカラウカ、斯ウ云フヤウナ赤化ノ思想ノ上ニ一火ヲ點ジマス、忽チニシテ燃エ上ル、ソレデ政體變革ニ關スル種々ノ宣傳或ハ財產奉還論ノ如キモノガ、結局赤化ヲ致シマスル溫床ニナル傾向ガアリマスルノデ、段々地方ノ青年若シクハ其ノ他生活ニ惱ンデ居リマスル者ガ、此ノ種ノ議論ヲ非常ニ喜ビ迎ヘマシテ、現在ノ機構ヨリモ我々ノ生活ヲ安定ニ導ク何モノカ新シキ機構ガ起ルンデヤナイカ、是非非常ニ私ハ危險ナ社會狀態デアリ、又危險ナ思想デアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレデ之ニ對シテハ、屢々政府ノ方デ御説明ニナリマスル新聞取締或ハ出版法ト云フヤウナコトデハ、全體ニ互ル心ナキ人ノ不謹慎ナ政體變革若シクハ財產奉還論ト云フヤウナモノ、矯激ナ言葉ヲ以テ宣傳ヲ致シマスル、ソレカラ生ズル思想ノ混亂ヲ防グニハ、不十分デハナイカト云フコトヲ痛感ヲ致シマス、元來此ノ種ノ思想犯罪ヲ撲滅致シマスル爲ニ、刑罰ヲ嚴重ニスルト云フコトモ最モ必要デアルト存ジマスルケレドモ、私ハ刑罰ノミヲ以テ是等ノ思想犯罪ヲ撲滅スルト云フコトハ、甚ダ不可能デハナイカト思フ、刑罰ガ嚴デアリ周密デアレバアル程、違反者ハ地下運動其ノ他法網ヲ潛ル手段ヲ以テスルデアリマセウカラ、此ノ思想犯罪ノ増加スル傾向ヲ見逃ス譯ニハイカスデアリマス、岡部委員ヨリ御話ニ相成リマシタ如ク、是ハ私ハドウシテモ、サウ云

フ思想ニ流ル、根源ニ對シテ「メス」ヲ入レ、之ヲ其ノ思想ニ陷ラナイヤウナ方策ヲ樹テルト云フヤウナコトガ、極メテ重要デハナイカト思フノデアリマス、現ニ防共トカ防諜トカ云フコトニ對シマシテハ、刑罰ノ外ニ色々手段ヲ講ジテ、政府ハ國民ト共ニ全力ヲ注イデ、其ノ防止ニ御盡力ニ相成ル譯デアリマスルケレドモ、此ノ思想犯ノ防止、犯罪ガ出來タ上ニ於テ處罰スルト云フノデハナク、犯罪ノ出來ナイヤウニ之ヲ防止スル方法ニ付キマシテハ格段ノ御注意ガナイ、又政府ガ國民ト協力致シマシテ、此ノ思想ノ傳播ヲ防グト云フコトニ御盡力ガナイカノヤウニ窺ハル、ノデアリマス、是ヨリモモット社會ニ對スル害惡ノ少イ風紀取締ニ對シテハ、或ハ活動若シクハ演劇ノ脚本、小説、色々ナ方面ニ對シテ十二分ノ注意取締ガアルヤウデアリマスルケレドモ、思想犯ノ撲滅ニ關シマシテ、國民ノ協力ヲ俟ツベク、又其ノ思想ノ發生ヲ防止スル爲ニハ、僅カニ教育制度ニ付テハ多少御考ニナツテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、其ノ他ノ方面ニ付テハ施設ノ見ルベキモノガナイヤウニ考ヘラレマスルノハ、全ク私ハ遺憾ニ堪ヘズ、唯刑罰ノ末ニミ趨ッテ、此ノ思想犯ヲ撲滅セムトスルト云フコトハ、如何ナモノデアラウカト存ズル次第デアリマス、故ニ私ハ初メ資料ノ取寄ニ對シマシテモ、思想犯ノ斯ウ云フ種ノ犯罪ガ出來ル原因ハ、或ハ教育ノ缺陷ニ基ク場合モアラウシ、或ハ國民組織ノ缺陷ニ基ク場合モアルシ、或ハ勞資協調ノ上ニ於テ十分ナラザル點ガアルカモ知レヌ、或ハ青年ノ健康狀態、環境其ノ他青年ガ何物ヲ希求シテ居ルカ、思想ノ流れ、斯ウ云フモノヲ十二分ニ探求

致シマシテ、其ノ原因ニ、根源ニ向ッテ、根治ノ方法ヲ政府デモ御考ニナリ、又國民ニ對シテモ其ノ協力ヲ求メラレルト云フコトガ、其ノ思想犯ノ撲滅若シクハ減少ニ對シマシテハ、大ナル力ガアルト存ズルノデアリマス、是ハ司法省ダケノ問題デナク、又文部省是ハ農林、商工ノ全體ノ問題デアリマシテ、經濟計畫ノ上ニモ影響致シマセウシ、國民組織ノ上カラモ考ヘ得ラレマセウシ、教育ノ上カラモ考ヘラレマセウカラ、唯司法省ダケニ御答ヲ求ムルト云フコトハ、或ハ困難カトモト存ジマスルガ、然ルベクドナタカラデモ御答ヲ得マスレバ結構デゴザイマス

○政府委員(秋山要吉) 只今御質問ノ御趣旨ハ、誠ニ御尤モノコトト拜聴致シマシタ、今日ノ思想犯罪ノ情勢ガ、物資ノ缺乏トカ、或ハ生活ノ重壓等ノ爲ニ、極メテ國民ガ不安ノ狀態ニ居ル、然ルニ一面ニ於テ統制經濟、或ハ配給機構ノ不備、公定價格、公定ノ適正ヲ得ナイヤウナ事情モ加ハリマシテ、思想狀態ガ頗ル混亂ニ陥ッテ居ル、殊ニ政體ノ變革ヲ目的トスルヤウナ議論、或ハ又例ヘバ財產奉還トカ、土地國有論トカ、云々ヤウナモノガ盛ニ横行シテ居ルヤウナ狀態ノ下ニ於テ、國民ハ益々思想上ニ於テ不安ヲ感ズルノミナラズ、公ノ機關ヲ代表スルヤウナ者ガ新體制々々ト云フコトヲ頻リニ主張スルガ爲ニ、國民ハ何カ新シイ世ノ中ガ出ルノデハナイカト云フヤウナコトカラ、斯ウ云フ色々ノ事情益々不安ニ陥ッテ、新シイ世界ヲ望ムヤウナ考ヘ方ガ、懸デ危險思想ヲ產ムヤウナコトニナルカラ、新聞紙法トカ出版法ノミニ委セナイデ、能ク根本ノ方策ヲ研究シテ、對策ヲ講ズルコトガ必要

デハナイカ、ソレニハ國民トノ協力ヲ求ムルコトモ必要デアラウシ、各省オ互連絡ヲ執ッテ、之ガ方策ヲ講ズルコトガ必要デアラウ、斯ウ云フ御意見ト拜聴致シマシタガ、誠ニ御尤モノコトトデゴザイマシテ、政體變革ニナル虞ノアルヤウナ財產奉還論、或ハ土地國有論等ノコトニ付キマシテハ、十分取締ノ實ヲ擧ゲナケレバナラスモノト考ヘテ居リマス、思想ノ根源ニ付テ「メス」ヲ入レナイデ、刑罰ノミヲ以テ之ヲ取締ッテ行クコトガ困難デアルコトハ、全ク御意見ノ通りデゴザイマス、司法省ト致シマシテモ、唯刑罰ヲ重クスルコトニ依ッテ之ヲ取締ノ實ヲ擧ゲ得ルトハ、決シテ考ヘ居リマセヌ、出來ルダケ、ドウ云フ原因ニ依ッテ、斯様ナ思想情勢ガ醗酵セラレタカト云フヤウナコトニ付キマシテ研究ヲ遂ゲマシテ、尙各省殊ニ文部省、內務省ナドノ連絡ヲ密ニ致シマシテ、國民ノ頭ヲ善良ナル思想ノ方ニ向ケテ行クコト云フコトニ、ドウシテモ努力シナケレバナラスコトニ考ヘテ、其ノ方法ニ付テ將來愈々益々此ノ思想改善ノ實ヲ擧ゲテ行カナケレバナラスコトニ考ヘテ居リマス、唯教育等ノコトガ極メテ大切ダト思ヒマスノデ、ソレ等ノ方面ニ於テ、文部省等ニ於テ十分ナル御努力ヲ願ハナケレバナラスモノダ、斯ウ云フ風ニ信ジテ居リマス

○山隈康君 大體御説明デ分リマシタガ、私ノ御尋ヲ致シマス一ツノ重點ハ、政體變革若シクハ財產奉還ト云フヤウナコト、ソレガ國體變更ヲ目的トセズ、又ハ朝憲案亂ヲ目的トシナイ程度ノモノデアッテ、社會ノ秩序ヲ紊シ、何等カ人心ノ不安ヲ擾キ亂スガ如キ趣旨ノ下ニ宣傳スル、或ハ自己ノ博識、自分ノ新シキ知識ヲ誇ラムガ爲

ニ、サウ云フ宣傳若シクハ煽動スル、斯ウ云フ者ガ相當今日デハアル、寧ロ私共ハサウ云フ人ハ思想惡化ヲ導ク上ニ於テ危險人物ナリト見テ居ルノデアリマス、斯様ナ者ガ直チニ治安維持法デ罰スルトカ、或ハ刑法ニ於テ罰スルト云フ程度ニハ、無論行カス譯デアリマスルガ、社會ノ秩序ヲ紊シ、平和ヲ害シ、組織ニ安リナル變更ヲ企ツルトカ、言論宣傳ヲ爲ス者ニ對シテハ、何カ從來ノ新聞取締法若シクハ出版法以外ニ、特別ニ之ヲ取締ルベキコトヲ御考慮ニハナツテ居ナイデアリマセウカ、是ハ今日ノ實際ノ實情カラ致シマスルコト、今ノ思想ノ流れト云フモノハ、サウ何カ惡イ火ヲ點ジマスルト、直チニ惡化スル傾向ガ見エル、此ノ際マアソレハ當局ノ力、其ノ他諸般ノ力ニ依ッテ防止モ致シマスルガ、取締ノ上ニ付テ特別ノ御考慮モ必要デハナイカト存ジマスガ、其ノ點ヲ更ニ御説明願ヒマス

○政府委員(秋山要吉) 財產奉還論トカ、土地國有論トカ云フモノガ、多クノ場合ニ於テ私有財產制度ヲ否認シヨウト云フヤウナ思想カラ派生シテ來ルモノデアルト思ヒマスルノデ、土地國有論、財產奉還論等ノ宣傳ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、之ヲ調ベテ參リマス結果、大體ハサウ云フ方面ニ於テ之ヲ處罰スルコトガ出來ルヤウニナルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、從ッテ土地國有論、財產奉還論等ヲ宣傳シタ場合ニ於キマシテハ、一應之ガ取調ヲ必要トスルモノト考ヘテ居リマス

○山隈康君 從來政府委員ガ貴衆兩院ノ委員會デ御説明ニナツタノト、大體同様ノ御説明デゴザイマシテ、十分私ノ腑ニ落チ兼ネ

マス點モゴザイマスケレドモ、此ノ程度デ
差控ヘマス、更ニ委員長ニ御願ヲ致シマス
ガ、逐條審議ニ際シマシテ若干御尋ヲシタ
イト思ヒマスルガ、其ノ時機ニ於キマシテ
質問ヲ御許願シテ、大體私ノ質問ハ是デ
終リマス

○田口弼一君　チヨット御尋ヲ申上ゲタイ
ノデアリマスガ、此ノ思想犯ニ對スル取締
ニ付キマシテハ、先日來各官廳共非常ニ御
熱心ニ御研究、御取締ニナツテ居ルヤウデ
アリマスルガ、私共斯ウジツト今日迄ノ狀態
ヲ色々見テ居リマス、初メハ大シタコト
デナイヤウナコトデアリマスコトガ漸次繰
返サレタリ、ソレカラ色々ナコトデ、ソレ
ガ強ク國民ニ意識ヲ與ヘルト云フヤウナコ
トガ多イヤウデアリマスコトニ考ヘ得ルノ
デアリマスガ、畏多イコトデアリマスケレ
ドモ、皇室ニ關シマシテモ何カ詰ラヌヤウナ
コトヲチヨイ／＼「デマ」ノヤウナコトガ話
ガアツテ、ソレガ度々重ナツテ行ツテ、何カ
多少皇室ニ對スル國民ノ信賴ヲ薄ラカシテ
行クヤウナコトニナリハシナイカ、ト云フ
ヤウナ事柄アタリガチヨイ／＼アリマス、
サウカト思フト又上層、重臣アタリニ對ス
ル非難ガチヨイ／＼出テ來テ、ソレガ色々
ナコトニ變ツテ行ツテ、上層ノ人ガ親英主義
トカ、親米主義トカ云フ風ニ、又順々ニサ
ウ云フコトニナツテ來テ、非常ニ重臣アタ
リヲ傷ツケルヤウナコトニナル、ソレカラ
議會制度ノ如キモ、議會ニ對スル色々ナ批
判カラ、議會ハ國民ノ信賴ヲ失ハシメルヤ
ウナコトガアルト云フヤウナコトガアリ、
又經濟機構ノ方ニ當ツテモ、自由主義ガア
ルト云フヤウナコトカラ、漸次經濟機構ニ
對スル非常ナ……是ハ無論惡イ所モアリマ

セウガ、何ダカ斯ウ靜カニ見テ居ルト、何
モノカ我ガ國民ノ最モ尊崇シ、國民ノ忠誠
ヲ效スベキ皇室ニ對シテ、幾ラカ尊嚴ノ念
ヲ薄ラガシメ、ソレカラ階級的ノ鬭爭ヲサ
セ、又政治機構ヲ非常ニ覆スヤウナコトニ
ナリ、經濟ノ攪亂ヲ起サセルト云フヤウナ
コトニ、漸次國內ヲナニスルヤウナ、非常
ニ不安ナ狀態ニ導イテ行クヤウニ徐々ニ
仕組ンデ、何モノカ繰ツテ行クヤウナ者
ガアルノデヤナイカト云フヤウナ考モ致ス
ノデアリマスガ、是ハ無論內務省、司法省
アタリデモ、非常ニ御研究ニモナツテ居ルコト
デモアリマセウト思ヒマスシ、連絡其ノ他モ
十分御取扱デモアリマセウガ、斯ウ云フ問題
ニ對シテ何カ思想犯罪其ノ他ニ關スル調査、
研究ノ組織ト云フヤウナモノガアリマシテ、
絶エズ其ノ變遷デアルトカ何トカ云フヤウ
ナコトヲジツト見テ行クナラ、餘リ甚タシキ
ニ至ラザル間、ソレヲ喰止メレバ止ルンデ
ヤナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレル、次
第二度重ナリ、次第ニ大キクナツテ行クヤウ
ナコトデ、言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、
絶エズ後手々々ニ行クヤウナ感じガスルノ
デアリマスガ、何カ豫メ斯ウ云フ方面ニ手
ガ延ビルノデアラウト云フコト等モ、研究
シテ居レバ考ヘラレルノデアリマス、又サ
ウ云フコトニ早ク著眼スレバ、後手ニナリ
マシテモ直チニ此處ニ來タンダト云フヤウ
ナコトデアリマシテ、早く取調ガ出來、色
色ナ取締上ノ便宜モ多カラウト思ヒマスガ、
是迄ドウ云フ風ナ狀態ニナツテ居リマスカ、
私モ誠ニ此ノ犯罪ノ次第々々ニ重クナツテ
行クノニ付キマシテ、非常ニ心配ヲ致シテ
居ルノデアリマス、若シ御差支ガナケレバ、
今現ニ斯ウ云フ方面ニ對スル研究等ハ、斯

ウ云フ風ニシテヤツテ居ルノダト云フコト
デ、我々安心ガ出來マスレバ非常ニ仕合セ
デアリマスガ、何カサウ云フコトデモ御話
ガ願ヘレバ非常ニ仕合セデアリマス

○政府委員(秋山要者)　只今御尋ノヤウ
ニ、思想情勢ガ段々惡化ヲ致シマシテ、動
モスレバ、皇室尊崇ノ念ニ缺クル考ヘ方ヲ
持ツ者モアリ、或ハ政治機構ヲ變改スル
云フヤウナ者、又經濟ノ攪亂ヲ企ツルヤウ
ナ者ガ段々多クナツテ來ルノハ誠ニ遺憾デ
アルガ、何カサウ云フモノニ付テ、之ヲ早
期ニ取締ルヤウナ方策デモ講ジテ居ルカト
云フヤウナ御尋デゴザイマスルガ、內務省、
文部省、司法省等ニ於キマシテハ、ソレ／＼
思想係ガアリマシテ、ソコニ於テ斯ウ云フ
問題ニ付テハ常ニ研究モシ、取締ノ任ニ當
テ居ルノデゴザイマス、出來ルダケ各方面カ
ラ思想情勢ヲ蒐集致シマシテ、出來ルダケ
早期ニ之ガ對策ヲ講ズル、內務省、文部省、
司法省、其ノ他陸海軍省等ニ於キマシテ、
出來ルダケ連絡ヲ密ニ致シマシテ、常ニ係
官ノ協議等モ致シマシテ、其ノ情勢々々ニ
應ジテ處置ヲ講ズルヤウナ手配ニハナツテ
居リマス、唯、何分ニモ司法省ニ致シマシ
テモ、思想係ト云フ極メテ小規模ノ機構
シカゴザイマセヌノデ、十分ノコトハ出來
マセヌケレドモ、將來ニ於キマシテモ成ル
ベクサウ云フ機構モ之ヲ擴大致シマシテ、
思想取締ノ上ニ於テ遺憾ノナイヤウニ致シ
タイト考ヘテ居リマス

ト云フヤウナコトデナクシテ、何カ一ツノ
大キイ役所ニ統一シテ、其處ニサウ云フコ
トガスツカリ分ルヤウニ、內務省ノ關係デ
アツテモ、司法省ノ關係デアツテモ、軍ノ關
係デアラウト、又學校關係デアリマセウト、
其ノ他各方面ノ思想犯ニ關スル問題ハ總テ
一箇所ニ集メテ、又各方面ニ於テモ無論ソ
レゾレヤラレルノガ宜イノデアリマスガ、
其ノ中央ニナツテ居ル所ニ一ツ御集メニナ
ツテ、ソレヲ絶エズ研究サレルトカ、或ハ外
國ノ狀態ノ如キモ、各役所デ色々御調べデ
アリマセウケレドモ、今御話ノヤウニ小規
模ノモノデアツテハ、ナカ／＼サウ云フコト
ニハ手ガ行届カヌデアラウト思ヒマスガ、
外國ノ狀態ナシカモ絶エズ調べテ居レバ、
同ジヤウナ手ガ日本ニモ繰返サレルダラウ
ト思フノデアリマスカラシテ、必ズ外國ニ
於テ起ルヤウナコトガ豫期セラレルカラシ
テ、豫メ斯ウ云フ手デ來ルノデヤナイカト
云フヤウナコト等モ豫期セラレ、バ、非常
ニ搜查ノ便宜モ宜ク、早く又搜查サレテ、
場合ニ依ツテハ未然ニ防グコトモ出來ルダ
ウト思ヒマスガ、サウ云フ御考ハゴザイマ
セヌデスカ

○政府委員(秋山要者)　只今仰セニナリマ
シタヤウナ中央機關ノ出來マスコトハ、極
メテ必要デアルト考ヘテ居リマス

○田口弼一君　現在非常ニ問題ガ重大ニナ
テ來テ居ルノデアリマスルカラシテ、若シ
サウ云フ御必要ヲ御考デアリマスレバ、至
急ニ一ツサウ云フ風ニ進ンデ戴キマシテ、
餘リ事柄ガ大キクナラヌ間ニ於テ、ドシ／＼
檢舉スルナリシテ戴ケバ、誠ニ私結構ダト
思ツテ居リマス、我々ガ昨日モチヨット御
話致シマシテ耳ニ入ッテ居ルヤウナ事柄ガ、

半年モ經テ、ソレ以上モ經テ初メテ檢舉サ
レルヤウナコトデアッデハ、我々ノ耳ニ入ル
迄ニハ傳ヘ傳ハッテ、斯ウ云フコトガアル、
ア、云フコトガアルト云フ譯デ、噂カラ傳
ハルノデアリマスガ、随分時ガ過ギテ後ニ
入ルコトダラウト思ヒマス、耳ニ入ッテ尙半
年餘ヲ費シテ、サウシテ檢舉出來ルト云フ
ヤウナコトデアリマス、ソレ迄ニ犯サレタ
事柄、又同志ナンカニ傳ハルコトカハ、
多大ナコトデアラウト思フ、國家ニ對スル
非常ナ損失デモアリマスシ、誠ニ危險極ル
コトデアリマスノデ、出來ルコトナラバ、
サウ云フコトハ政府ニ於テ十分一ツ御考慮
下サイマシテ、綜合的ノ機關ガ必要デア
ルト云フノナラ、一日モ早ク作ッテ戴キマシ
テ、國民ヲシテ安心サセルヤウニ一ツ御配
慮願ヒタイ

○男爵井田馨楠君 今ノ田口委員ノ御質問
ニ關シタコトヲ一ツ私モ申上ゲタイ、思想
犯ヲ常ニ司法省ニ各省ガ委セテ居ルト云ッ
タヤウナ傾向ガ、由來各政府ニアル、ドノ
内閣デアリマシタカ、鳩山文部大臣ノ時ニ、
今ノ司法大臣ガ陸軍次官ノ時分ニ、今田口
委員ノ言ハレマシタ要求ヲ、私ガ祕密會ニ
於テ述ベタコトガアリマス、爾來政府ノ
中ニ各次官ノ思想對策委員會ト云フモノガ
出來タノデアリマス、ソレガ出來テ、定メ
シ何等カ今田口委員ノ御希望ノヤウナモノ
ガ出來ルト云フ期待ヲ持チ、私ハ非常ニソ
レヲ喜ンデ居リマシタ處ガ、何時ノ間ニカ
消エテシマツタ、是ハ此處ニ今軍ノ局長モオ
イデデアリマスガ、軍モ責任ガアル、私ハ
別ニ軍ニ對シテ、思想ノコトヲ御尋ヲ申上
ゲタイト思フノデアリマスルガ、軍ニ對ス
ル思想ト云フモノハ、非常ナ大切ナ問題デ

アルノデアリマシテ、別個ノ場合ニ是ハ御
尋ネ申上ゲタイト思ッテ居ルノデアリマス
ルガ、文部省、内務省、司法省、此ノ連繫
ガ惡イ、ソレデモ先程モ司法省ノ委員カラ
ノ説明ガアツタ通りニ、今後文部省、内務省
トノ連繫ヲ一層緊密ニ發展シタイト云ッ
ヤウナ御話ガアツテ、恐ラクアノ御答辯ヲ伺
フト云フト、現在内務省ガ司法省ニ對スル
要求、或ハ文部省ガ司法省ニ對スル要求、
或ハ逆ニ司法省ガ内務省ニ對スル要求ト云ッ
タヤウナモノガ、相互關係ニ於テ甚ダ緊密
ヲ缺イテ居ルヤウニ伺ッテ居ル、又現ニ不十
分デアリマス、今ノヤウナ一部ノ思想委員
ノ連繫デハ、是ハマルデ泥棒ヲ捕ヘテ繩ヲ
縛フ以上デアルト思ヒマス、政府ガソレノ
割據シテ思想問題ヲヤッテ居ル、而モ其ノ割
據シテヤッテ居ルノガ徹底シテ居ナイ、是デ
ハ幾ラ治安維持法ノ法律案ヲ強クヤッテ見
タツテ、行クモノデハアリマセス、一例ヲ申
シマスレバ、豫防拘禁ナリ保護觀察ヲ作ッテ
見タ處デ、是ハ今迄ノヤリ方ナラナカ
行クモノデヤナイ、幾ラ豫防拘禁シテ見
タツテ、是ハモット思想ヲ根本ニ改善ス
ルダケノ努力ト施設ヲ設ケテ行カナケレ
バ、唯、法ノ上デ以テ括ッテ行クダケナンデ
ス、ドウモ各方面甚ダ怠慢デアアル、政府
ニ私ハ怠慢ト申上ゲル、斯ウ云フコトデハ
駄目ダ、ソレデハ私ハ各大臣ノオイデノ時
ニ申上ゲタイト思ッテ居タ、是ハ結論ナン
デアリマスガ、偶、田口委員カラソレヲ御述
ベナリマシタカラ、此處ニ於テ一言シテ置
クノデアリマスケレドモ、是ハ改メテ私ハ
又各大臣ノ御出席ヲ得テ、此ノ委員會ノ結
論トシテ御注文ヲ申上ゲタイ、是ハ定メシ
岡部委員ニ於テモ、其ノ御考ガ一番最初ニ

出テ居ッタノデアリマス、是ハ最後ノ場面ノ
委員ノ意見ダト私ハ思ヒマスルガ、偶、サウ
云フ問題ガ出マシタカラ、私之ヲ茲ニ申上
ゲテ置クノデアリマスルガ、實ニ各省ハ怠
慢デアリマス、私ハ御答辯ハ求メナイ
○子爵岡部長景君 ソレニ關聯シテ居リマ
スガ、私ハ具體的ノ事實トシテ伺ヒタイト
思ヒマス、此ノ政體變革ト云フ問題ハ、矢
張り今ノ國體變革トハ性質ガ違フコトハ無
論デアリマスガ、問題ニ依ッテハ、國體變革
ト非常ニ接近シタ問題トモナリ得ルノデア
リマス、是ハ例ヘバ、今日所謂高度國防ト
云フコトガ非常ニ必要ナ時代ニナツテ來テ、
今迄ノ日本ノ機構、制度、總テノモノガ、
今迄通りデハ逆モ此ノ要求ニ應ズル譯ニ行
カナイ、ドウシテモ新體制ヲ必要トスルト
云フコトハ、是ハ當然ノコトデアリ、又運
用ノ上カラ云ッテモ、間違ッタコトガ隨分澤
山アルト思ヒマス、例ヘバ我々議會關係ノ
者カラ見マスレバ、議會ト云フモノモ、時ニハ
隨分國體ニ對シテ有益ナラザル言論ガ行ハ
レルコトモアリマスルシ、時ニ依ッテハ、實
際我々……比較的ニ申シマスレバ、貴族院
ノ方ハ少ナク、衆議院ノ方ニ多イト思ヒマ
スガ、國家ノ爲ニ不利益ナル場面ガ展開セラ
レルコトモアルノデアリマシテ、斯ウ云フ
コトハドウシテモ改メナケレバナラス、是
ハ議會バカリデナク、經濟機構ノ有ラユル
方面ニ於テ、今ノ財産制ニ於キマシテモ、
私有財産ヲ否定スルコトハ固ヨリイケナイ
ケレドモ、所謂公益優先ト云フヤウナコト
モ、是亦必要ナコトデアアル、併シ公益優先
ヲ徹底的ニヤッテシマヘバ、私有財産否定ミ
タヤウナコトニモナツテシマフノデアリマス
ルカラ、サウ云フヤウナコトハ許サレナイ、

何處迄ガ優先スベキ公益デアリ、何處迄ガ
尊重スベキ私益、私有財産デアアルカト云フ
コトハ、運用ニ依ッテ妙味ガ發揮サレルノデ
アツテ、運用ガ惡ケレバ、今日ノ高度國防國
家建設ノ爲ニハ反對ノ働きヲ爲スト云フコ
トモ考ヘラレルノデアリマスカラ、非常ニ
運用ト云フ問題ハ微妙ナ點デアリ、又困難
ナ點デハナカラウカト考ヘルノデアリマス、
サウ云フヤウナ點カラ言フト、此ノ改革ガ、
動モスルト政體變革ト云フ所ニ觸レル位ノ
程度ノ所迄行カナケレバナナイヤウナコ
トニナリ、又行ク可能性ガアルノデハナカ
ラウカト云フ心配モサレルノデアリマス、
例ヘバ議會不要論ト云フヤウナ意見ハ、私
ハ是ハ相當眞面目ナ、非常ニ眞剣ナ氣持ヲ
持ッテ居ル人ノ間ニアルコトダラウト思フノ
デス、少クモ今日此ノ非常時局ニ於テ、ド
ウモ有益ナ論議バカリデナク、無益ナ論議
モ展開サレルト云フコトニナルノハ困ルト
云フ意見モ相當アルノデ、是ハ政體ヲ否認
スルトカ、無論國體ニ觸レルカ云フ考ハ毛
頭ナイノデアリマスケレドモ、他ノ考カラ
シテ、サウ云フヤウナ今日ノ此ノ非常時局
ニ際シテハ、已ムヲ得ナイト云フヤウナ氣
持ヲ持ツ人ハ、私ハ是ハ動機ニ於テ決シテ咎
ムベキ動機デモナク、又或場合ニ於テハ、
實際ドウモ其ノ方ガ却テ宜イト思フコトガ
アル場合スラアルト思フノデアリマスガ……
チヨット是ハ委員長、速記ヲ止メテ戴キタイ
ノデスガ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ
下サイ
(速記中止)
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ
○政府委員(秋山要君) 議會ノ不要論トカ

云ツヤウナ政體ノ變革ニ關係ノアルヤウ
ナコトガ、今日ノ社會情勢ニ於テ相當是ハ
論議ヲスル者ガ實際上アルト思ヒマス、此
ノ點ハ仰セノ通りダト考ヘテ居リマス、ソ
コデ之ヲ悉ク治安維持法ノ國體變革ニ關聯
ヲ持ツデアラウト云フ嫌疑ヲ以テ、直チニ搜
査ヲ開始スルト云フコトモ、仰セノ通り運
用上カラ申シマスレバ如何カト思ヒマス、
思ヒマスガ、併シ斯ウ云フ情勢ガ若シ非常
ニ寡リマシテ、結局斯ウ云フ議論ガ大勢ヲ
制スルト云フヤウナコトニナリマスル
ト、是ハ國家ノ上ニ於キマシテ非常ナ由々
シイ大事デアラウト思ヒマスノデ、斯ウ云
フ思想ハ矢張り之ヲ早期ノ間ニ取締ツテ行
ク方が必要デアラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス、唯果シテドノ程度ニ其ノ取締
ノ實ヲ擧ゲテ行クカト云フコトニナリマス
ルト、結局運用ノ問題ニナリマシテ、非常
ニムジカシイコトニナラウト思ヒマスガ、
併シナガラ斯ウ云フ思想ノ瀾漫濫透スルコ
トハ、國家ノ上ニ於キマシテ決シテ宜シク
ナイコトト思ヒマスルノデ、出來ルダケサ
ウ云フ思想ノ瀾漫セナイ早期ノ間ニ之ヲ取
締ツテ行クベキモノダト、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス

還兵ノ問題ガ出マシタカラ、ソレカラ枝葉
デアリマスルガ、是ハオ互ニ憂慮スベキ問
題ダト思フノデアリマス、或意味ニ於テ、
斯ウ云フ反對ナコトガ言ヘルト思フ、戰爭
ニ行ツテ歸ツテ來タ兵隊ガ心配ダト云フノハ
何事カ、是ハ軍ノ教育ガ惡イノデヤナイカ、
チャントシテ歸シテ寄越シタラ宜イデヤナ
イカ、斯ウ云フコトモ一面言ヘル、サウナ
リマスルト、歸還兵ニ一應十分教育ヲシテ、
戰地ニ行ツテ爾ト教育ハ出來ナイコトハ、私
カラ申ス迄モナイコトデアリマス、バラバ
ラニナツテ居ルカラ、一應歸ツテ來テ、一箇
月ナリ、二箇月ナリ軍隊ヘ入レテ、是デ宜
シ、是デ本當ノ歸還兵ダト言ヘル時ニ御歸
シニナツタラドウカ、一遍離レテシマフト、
ナカノ在郷ニナルトムツカシイ、其ノ邊
ノ政治教育ト言ヒマスカ、軍デ政治教育ヲ
シチヤイカヌト思ヒマスルケレドモ、是ハ
特別ナ場合デアリマスルカラ、何カサウ
云ツヤウナ方面ノ御考ガアツテ然ルベキヤ
ウニ思フ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ
下サイ

○男爵井田馨楠君 軍當局ノ歸還兵ニ對ス
ル御苦心ハ今承リマシテ誠ニ安心トハマダ
申セヌケレドモ、御苦心ノ程ハ誠ニ能ク分
リマシタ、私モ二三直接……二三デヤアリ
マセヌ、隨分多クノ歸還兵ヲ知ツテ居リマス
ガ、私ノ知ツテ居ル限りノ歸還兵ハ實ニ良
クナツテ居ル、ドウ云フモノカ知ラスケレド
モ、私ノ知ツテ居ル限りノ歸還兵ハ實ニ良
クナツテ居ル、現ニ私ノ親戚ニ居リマス若

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ
下サイ

イ者ハ歸ツテ來テカラ實ニ良クナツテ居ル、
感謝シテ居ル譯デアリマスケレドモ、元々
隨分色々ナ思想ノ者ガ澤山入ル、是ハナカ
ナカ簡單ニ戰地ニ行ツテ居タラ直ルト云フ
ヤウナコトデモナイト思ヒマスケレドモ、
茲ニ在郷軍人會ノ方面ノ活躍ヲ私ハモット
希望シナケレバナラヌト思ヒマス、ドウモ
此ノ方面ノ斯ウ云フヤウナコトニ活躍ガ少
イヤウニ思ヒマス、一番此ノ國家ガ安心シテ
居ルノハ軍デアリマス、軍ガ良カッタラ是
程國民安心ナコトハナイ、又軍ガ惡ケレバ
是程國民ガ心配ナモノハナイ、處ガ其ノ上
デ私ガ一番心配スルノハ、高度國防國家ノ
コトハ誠ニ結構デアリマス、大砲ガ澤山出
來タ、軍艦ガ澤山出來タ、是ハ展覽會ヲス
ルノデハナイ、結局之ヲ運用スルノハ人ニ
アル、高度國防國家ハ今日ノ場合ニ於テ誠
ニドウシテモヤラナケレバナラヌ國家ノ方
針デアアル、之ニ向ツテ國民ハ全力ヲ注イデ
居ルト同時ニ、之ヲ運用スル所謂思想ノ體
制、思想ニ體ト云フコトハ出來マセヌガ、
サウ云フ方面モアリマセウ、事實ニ先ツテ
居リマスコトハ國體明徴デアリ、思想デア
ルト思ヒマス、元軍ノ中ニハ思想國防ト云
フ御言葉ガ言ハレテ居タガ、此ノ頃之ガ
ナイ、之ガ宜クナイト思ヒマス、矢張り思
想國防ト云フ言葉カラ興シテ來テ、サウシ
テ言葉ガ興キレバ何等カ思想ニ對スル國防
ト云フコトガ、自然ニ軍ノ中ニ於テモ考ヘ
ラレル、元ハ盛ニ言ハレタ所デアリマス、
今日高度國防ノ中ニ入ツテシマッタ、此ノ點
アタリハ一ツ兵務局長ニ於カレマシテ、
直接ノ御任務デアリナイト思ヒマスケレド
モ、軍全般ト致シマシテ、私ハ思想國防ト
云フモノヲ政治的ニ深く各省ト御關係下サ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ
下サイ

○男爵井田馨楠君 尙一ツ御尋ヲ申上ゲタ
イノハ、大體御要旨ノ點ハ分リマシタガ、
尙是ハ軍外ノ政府ニ對スルコトデアリマス
ルカラ、或ハ軍トシテハ各省ニ干涉スルト
云フヤウナコトニナルノデ、斯ウ云ツタコト
ハ御遠慮ニナツテ居ルト云フノカ、或ハ何等
カ今迄色々ト御註文モアツタノカト思ヒマ
スルガ、今日ノ政府ヘ對スル、法案ヲ離レ
タ教育トカ、或ハ社會ノ施設等ニ對スル思

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ
下サイ

想カラ見タ軍ノ御希望トカ、註文トカ、或ハ對策ト云ツヤウナモノヲ御聽カセヲ願ヒタイ

○政府委員(田中隆吉君) 是ハマア政府委員ト云フコトヲ離レマシテ、兵務局長トシテ申上ゲマス、先ヅ第一ニヤッテ戴キタイコトハ教學ノ刷新、是ハ非常ニ最近好クナリツ、アリマスガ、ドウシマシテモ過去ニ於ケル例ノ自由主義的ノ教育ト云フコトハ、是ハモウ根本カラ廓清シテ戴キタイ、所謂教育勅語ノ實踐ヲスル所ノ、教育勅語ニ相應シキ、丁度軍隊ガ軍人勅諭ノ實踐團體ナル故ニ、精強世界ニ冠タルヤウニ、日本ノ國家ハ教育勅語ノ實踐國家ナル故ニ、所謂世界ニ無比ナ、名實共ニ世界一ノ國家ニナルト思ヒマス、私ハ教育ノ根本ヲ、今迄ノヤウナコトデナクシテ、是非共教育勅語ノ實踐、ソレヲ一番望ミマスノハ、大學デアリマス、大學ヲ出タ人ハ、大ナリ小ナリ社會ヲ指導シテ行カケレバナラスノデ、大學教育ト云フモノヲドウシテモ日本ノ國體ニ副ハシテ教育ヲ改善シテ戴キタイト思ヒマス、衷心カラノ希望ヲ持ッテ居リマス、大學、專門學校……小學校教育、國民學校教育ハ重要視サレテ居リマスガ、是ハ先ヅ宜シト致シマシテ、勿論是モ日本國民トシテノ基礎教育デアリマスカラ……、繰返シテ申シマスガ、私ハ高等學校、專門學校以上ノ教育、特ニ大學ノ教育ヲ、眞ニ日本人ノ指導者タルニ相應シキ教育ヲシテ戴キタイト云フコト、之ガ出來レバ日本ノコトハ心配要ラナイト考ヘテ居リマス、政治ガ腐ツタカ何トカ言ハレマスルガ、之ガ立派ニ出來タナラバ、私ハ日本ハ默ッテ居ッテモ立派ニナルト、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレヲ一ツ希望シテ居

昭和十六年二月二十八日印刷

昭和十六年三月一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局

リマス、ソレカラ今申シマシタ教育ノ刷新ニ依リマシテ、國民思想ト云フモノハ健全ニナツテ來マス、從ヒマシテ今申シマシタ國防法律デアリマス、是ハ必ズシモ使ハスデモ宜イノデアリマス、法律ヲ使フト云フコトハ宜シクナイノデアリマスガ、出ルカラ仕方ガナイ、斯ウ云フ治安維持法トカ、國防保安法トカ、軍機保護法アタリデドウシテモ國內ノ非日本のモノヲ去ル、同時ニ軍人援護事業、ト申シマスノハ、特ニ貧家ノ子弟カラ出マシタ軍人ニ後顧ノ憂ナカラシムルト云フコトデアリマス、同時ニ戰死シタ後、是モ餘リ心配ナシニ、皇恩、國本ノ有難サニ感激セシムルヤウニ仕向ケタイ、之ガ陸軍ノ一番考ヘテ居ル重點デアリマス、外ノ事ハ別ト致シマシテ、ドウシテモ社會施設トシテ、重點ヲ、國家ニ生命ヲ捧ゲ、或ハ國ノ爲ニ、所謂血稅ヲ捧ゲテ居ル者ノ遺族並ニ家族ヲ安ンジテ生業ニ從ハシメテ、生活モ矢張り入營前ト同ジヤウニシテ、國民ガサウ云フコトデ不平ヲ起サナイヤウニシタイ、此ノ二點デアリマス、モウ一ツハ……是ハチヨット速記ヲ止メテ戴イテ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ

○子爵岡部長景君 昨日御願ヒシテ置キマシタ學内及ビ一般教育界ニ於ケル思想傾向ノ問題ニ付テノ御説明ヲ願ヒマス
○政府委員(藤野惠君) 速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記中止

〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ

○子爵岡部長景君 斯ウ云フヤウナ事件ガ從來モサウダと思フノデアリマスルガ、檢舉サレテ初メテ分ル、ソレ迄ハ文部當局トシテハ何等氣ガ付カナカッタノカ、或ハ氣ガ付イタノヲ氣ヲ付ケナカッタノカ、放任シテ居ルト云フヤウナ場合ガ多イヤウニ思フノデアリマスガ、ソレハ事前ニ少シドウモ此ノ先生ハ思想ガ惡イトカ云ツヤウナコトハ分ラナイノデスカ、ドウ云フモノデゴザイマスカ

○政府委員(藤野惠君) 只今申述ベマシタ關係事項ニ付キマシテハ、實ハ全然事前ニ於テ承知ヲ致シテ居リマセスノデゴザイマス、此ノ點誠ニ關係當局ト致シマシテ遺憾ニ存ジマスル次第デアリマスルケレドモ、段々昨日御話ノ内務省ヨリ運動ノ傾向ニ付テ御話ノアリマシタコトニ依リマシテ御了承ヲ戴イテ居ルト存ジマスルガ、全ク何ト申シマセウカ、地下運動ノヤウナ形態ヲ取リマシテ發展シテ參リマシタモノデアリマシテ、且又學外カラノ關係ガ主タルモノデゴザイマシテ、遂ニ事前ニ於テ之ヲ知ルコトガ出來マセスデシタノハ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、將來十分ノ注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ下サイ、今日ハ此ノ程度デ止メテ置キマシテ、明日午前十時ヨリ開會ヲ致シマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス
午後四時三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵渡邊 修二君
委員 侯爵井上 三郎君
子爵岡部 長景君
子爵舟橋 清賢君
織田 萬君
男爵井田 磐楠君
田口 弼一君
堀切善次郎君
男爵伊江 朝助君
山岡萬之助君
次田大三郎君
長岡隆一郎君
山隈 康君
上野喜左衛門君

國務大臣

文部大臣 橋田 邦彦君
司法大臣 柳川 平助君

政府委員

內務省警保局長 橋本 清吉君
內務書記官 入江誠一郎君
內務事務官 村田 五郎君
陸軍少將 田中 隆吉君
陸軍省法務局長 潮見 茂樹君
司法次官 三宅正太郎君
司法省刑事局長 秋山 要君
司法書記官 太田 耐造君
文部省社會教育局長 額瀨 彌三君
教學局長官 藤野 惠君
教學局部長 堀池 英一君